

一北文協公第21号

令和5年4月26日

北海道オホーツク総合振興局長 様

主たる事務所の所在地
網走市潮見 309 番地 1
指定管理者名称
一般財団法人北方文化振興協会
代表者職氏名
理事長 新谷基衛
電話番号
0152-45-2277

事業報告書 (令和4年度)

北海道立オホーツク公園の管理に関する協定書第18条第3項の規定により、次のとおり令和4年度事業報告書を提出します。

記

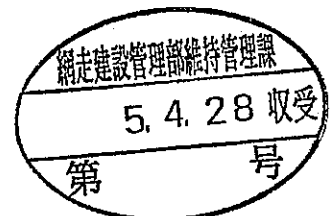
<公の施設の名称：北海道立オホーツク公園>

◆指定管理業務に関する報告書

1. 年次業務報告書
2. 年次収支決算報告書
3. 公園利用者の分析

◆指定管理業務外に関する報告書

1. 自主企画事業報告書
2. 年次収支決算報告書



指定管理業務に関する報告書

I. 基本的な運営方針

指定管理者として、オホーツク公園と北方民族博物館の業務を一体的に管理するメリットを活かし、効果的な相互宣伝・広告、人的相互支援、共通業務に係る委託契約の一本化など効率的な管理運営と双方の利用促進を図りました。

1. 公園の管理運営方針

ゆとりと潤いのある環境づくりを目指して、多様な広域レクリエーション需要の充足に努め、次のとおり管理運営を行いました。

(1) 公園としての役割

多様な利用者のニーズに応えるため、恵まれた自然環境を保全し、ボランティアとの連携を取りつつ、豊かな森林資源を活用した取り組みや、公園内に点在する花壇の整備・管理を推進し、住民参加型の公園づくりに努めました。

また、利用者ニーズを踏まえた自主企画事業を開催するとともに、自然体験型・健康推進型の関連事業の誘致促進を図りました。

(2) 広域レクリエーション施設としての役割

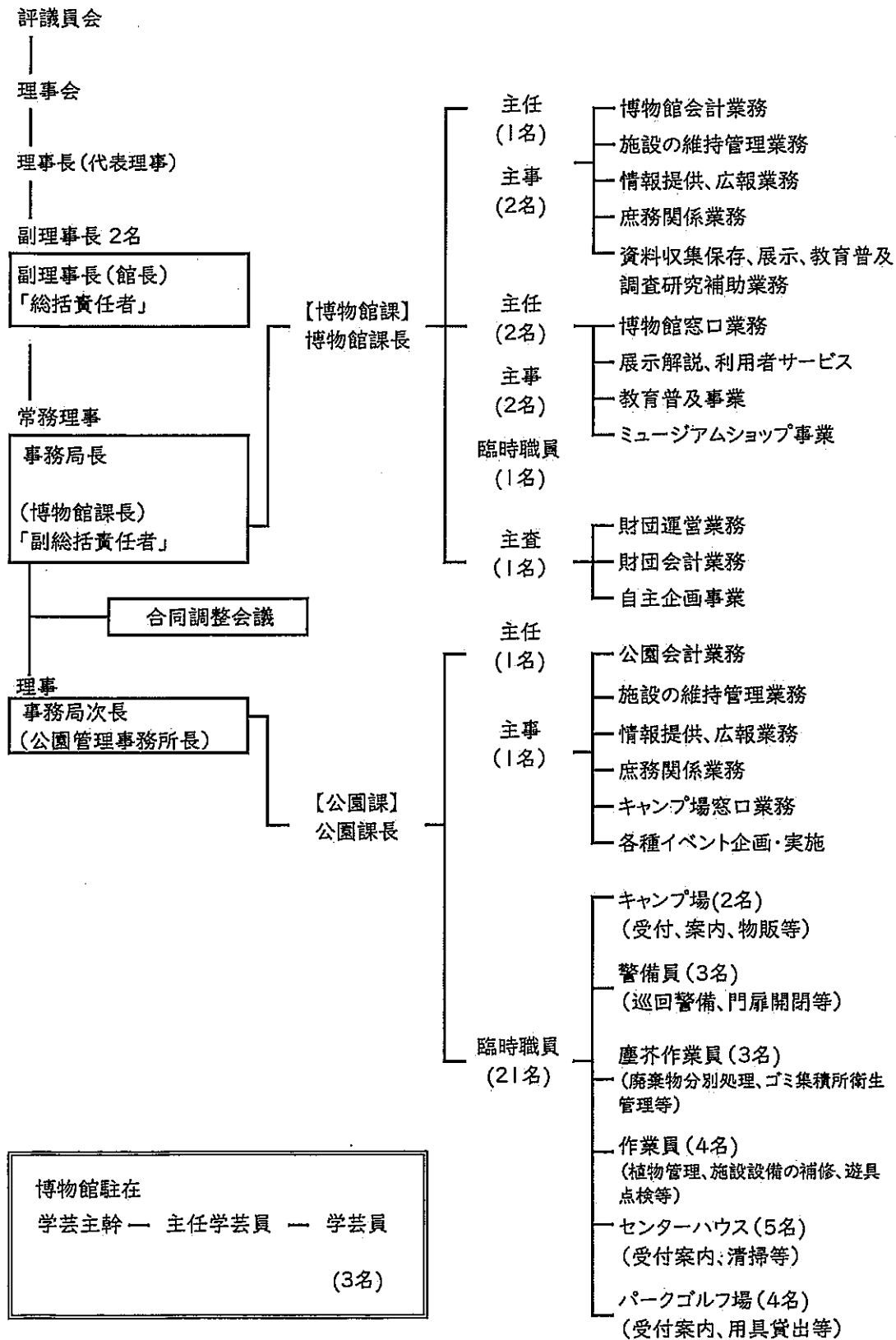
公園には、オートキャンプ場をはじめ、パークゴルフ場及び屋内外の遊具施設など、それぞれのテーマに合わせた施設が配置されています。これらの施設が、家族での利用や青少年の健全育成の場、高齢者の健康増進・交流の拠点となるよう、利用者に多様な余暇の過ごし方を積極的に提案しました。加えて、ソフト面での一層の充実を図り、振興局管内はもとより、広く管外からも利用者を誘致し、更なる利用促進に努めました。

(3) 適切な維持管理

公園は、休息、観賞、散策、遊戯、運動などの総合的なレクリエーションの用途に供されていることから、利用者が常に安全に安心して利用できるよう、すべての法令を遵守し適切な施設及び設備、並びに備品等の維持管理に努めました。なお、施設及び設備の使用状況を常に把握するとともに、事故防止に努め、安全管理に万全を期すとともに、保守点検については、外部の資格を持った専門業者に再委託しました。

II 管理運営の体制

1. 組織図



2. 公園人員配置

別紙1のとおり、各施設における業務遂行な人員を配置しました。

3. 職員研修計画【管理の目標：2回以上】

職員の資質向上を図るため、下表のとおり研修等を実施しました。

計10回実施

月日	研修等の内容	主催	人数	開催地
4月6日	R4年度職員研修会	(一財)北方文化振興協会	17名	網走市
6月4日、5日	アウトドアデイジャパン札幌	(一社)日本オートキャンプ協会	2名	札幌市
6月7日	手話講習会	網走市役所	1名	網走市
6月27日	動物駆逐用煙火消費保安講習会	(公社)日本煙火協会	2名	砂川市
	ガーデンフェスタ北海道2022視察	北海道、恵庭市、(公財)都市緑化機構	2名	恵庭市
8月25日	遊具の点検講習会	(一社)日本公園施設業協会	1名	札幌市
11月17日、18日	甲種防火管理新規講習会	網走地区消防組合消防本部	1名	網走市
11月25日	全道オートキャンプ場管理運営担当者会議	北海道オートキャンプ協会	1名	札幌市
11月30日	救命救急講習会	網走地区消防組合消防本部	4名	網走市
2月14日	令和4年度道立都市公園管理研究会	北海道建設部まちづくり局 都市環境課	2名	札幌市

Ⅲ 運営業務

1. 施設の利用に関する業務

1) 利用窓口

利用者から寄せられた苦情等については、迅速かつ適切に対応するとともに、苦情処理簿に経過を記録し、速やかに北海道へ報告しました。寄せられた苦情等に対する判断が困難な場合は、北海道に連絡しその指示を受けることとしました。

一体管理施設である北海道立北方民族博物館を含めた周辺施設の情報を収集し、利用者へ提供することにより、サービスの向上に努めました。なお、各施設での業務は以下のとおり行いました。

①オートキャンプ場については、開設期間中、管理事務所長のほか、常勤職員3名及び臨時職員2名を配置し、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で受付・案内・利用承認のほか、特定の個人、団体を優先することなく、利用者の平等利用を確保し、適切かつ丁寧な対応を行いました。

②センターロッジでは、キャンプ用品・スポーツ用具等の貸出しを行い利用者の利便を図るとともに、適正な管理に努め回収の都度、安全点検を行いました。

③センターハウスについては、パート職員5名を配置し、オートキャンプ場同様、適正かつ丁寧な窓口対応を行いました。尚、苦情対応については、迅速かつ適切に対応するとともに苦情処理簿に経過を記録し、速やかに北海道へ報告することとしておりましたが特に報告する苦情等はありませんでした。

④パークゴルフ場については、受付料金徴収等を行うための管理棟へ、パート職員4名を配置し、用具の貸し出し業務も含めオートキャンプ場同様、適正かつ丁寧な窓口対応を行いました。尚、苦情対応については、迅速かつ適切に対応するとともに苦情処理簿に経過を記録し、速やかに北海道へ報告することとしておりましたが特に報告する苦情等はありませんでした。

2) 利用の承認等

①利用承認

利用に当たっては、北海道立都市公園 6 条の 2 に該当する場合を除き、利用を承認しました。

②平等利用

利用者については、道民であるかどうかに関わらず、また外国人に対しても区別なく、等しく同じ利用料金、同じ無料及び減免基準を適用しました。また、利用料金の還付や減免については、北海道立都市公園条例及び同オホーツク公園管理規則に則り適正に行いました。

当公園における施設の予約方法は、窓口での受付をはじめ、電話・FAX・WEB とし、高齢者や障がい児・者、国籍等にかかわらず、利用しやすい環境を整備し公平に受付しました。

また、団体利用の申込みがあった場合、特定の団体利用に偏ることの無いよう、また、一般利用者の利用が制限を受けることの無いよう利用調整を行い、利用者に理解の徹底を図り、適正な利用許可や調整方法に平等性を確保しました。

3) 開園時間等

	施設名	期間	時間	担当者	備考
管理施設・遊戯施設	開扉 正門	4月1日～4月28日	8:30～17:30	【開門・閉門】 職員・センターハウス管理人 警備員 パークゴルフ場管理人 職員	
		4月29日～10月9日	7:00～19:30		
		10月10日～10月31日	8:00～17:30		
		11月1日～3月31日	8:45～17:30		
	南門	5月1日～10月9日	6:45～19:15	警備員 職員	
		10月10日～10月31日	8:45～17:30		
(管理棟・施設 センターハウス (ころころひろば) (ぼうけんの森)	管理棟・施設 センターハウス	4月1日～3月31日	9:00～17:00	【解錠・施錠】 職員・センターハウス管理人 【巡回・確認】 警備員・作業員 センターハウス管理人	
	(ころころひろば)	(4月1日～3月31日)	(10:00～16:00)		
	(ぼうけんの森)	(5月1日～8月31日) (9月1日～9月30日) (10月1日～10月31日)	(10:00～19:00) (10:00～18:00) (10:00～17:00)		
センターロッジ		4月29日～10月9日	8:00～21:00	【開扉・閉扉】 職員・警備員 職員	
		10月10日～10月10日	8:00～16:45		
便益施設	駐車場 中央駐車場	4月1日～4月30日	8:30～17:30	【巡回・確認】 職員・センターハウス管理人 警備員 センターハウス管理人 職員	
		5月1日～10月9日	7:00～19:30		
		10月10日～10月31日	8:00～17:30		
		11月1日～3月31日	8:45～17:30		
	南駐車場	5月1日～10月9日 10月10日～10月31日	6:45～19:15 8:45～17:30	警備員 職員	
トイレ 北駐車場トイレ	4月29日～10月31日	5:30～19:00	【解錠・施錠】 北方民族博物館警備員		
売店		4月29日～10月9日	8:00～21:00	【解錠・施錠】 職員	
		10月10日～10月10日	8:00～16:00		
有料施設	オートキャンプ場	4月29日～10月9日	8:00～22:00	警備員 職員	宿泊キャンプ デイキャンプ(日帰り)
		10月10日～10月10日	8:00～16:00		
	パークゴルフ場	5月1日～8月31日 9月1日～9月30日 10月1日～10月31日	8:00～17:30 8:00～16:30 8:00～16:00	パークゴルフ場管理人	

上表における各門扉及び開閉時間等については、気象状況によりこの限りではありません。

2. 開設時間の延長

1) キャンプ場

①令和4年4月29日から令和4年9月30日までを令和4年10月10日まで開設期間を延長しました。ただし、10月10日はデイキャンプのみの利用としました。

2) パークゴルフ場

①利用者の利便性の向上及び利用促進を目的として、シーズン券の新規導入及び市内パークゴルフ場（三施設）で利用できる共通回数券を発行しました。

②網走市高齢者生活総合支援事業である助成券取扱店として登録しました。

3. 利用料金の收受等

1) 規定

公園条例第12条の2の規定に基づき適正に処理しました。

2) 利用料金の設定

利用者しやすさを考慮し設置条例で定める上限額の範囲内で別表のとおり利用料金を設定しました。

3) 利用料金の收受・還付等

北海道と一般財団法人北方文化振興協会とが締結する北海道立オホーツク公園の管理に関する協定書に定める利用料金の収納に関し、必要な事項を定め適正に処理しました。

1. オートキャンプ場に入場する場合

区分	利用料金
利用料金(デイキャンプを利用する場合)	
学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者以外	1人1日につき 500円
利用料金(レイトキャンプを利用する場合)	
学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者以外	1人1日につき 800円
利用料金(サイトを利用する場合)	
1. 小学校の児童	(オンシーズン) 500円
	1人1泊につき(ショルダーシーズン) 400円
	(オフシーズン) 300円
2. 1以外の者 (学齢に達しない者を除く)	(オンシーズン) 1,200円
	1人1泊につき(ショルダーシーズン) 800円
	(オフシーズン) 600円
利用料金(ロッジを利用する場合)	
1. 小学校の児童	(オンシーズン) 700円
	1人1泊につき(ショルダーシーズン) 600円
	(オフシーズン) 500円
2. 1以外の者 (学齢に達しない者を除く)	(オンシーズン) 1,600円
	1人1泊につき(ショルダーシーズン) 1,200円
	(オフシーズン) 700円

2. オートキャンプ場内の施設又は設備を利用する場合

区分	利用料金	
サイト料金(デイキャンプを利用する場合)		
フリーテントサイト料金	(オンシーズン)	500円
	サイト 日につき(ショルダーシーズン)	400円
	(オフシーズン)	300円
サイト料金		
キャンピングカーサイト料金	(オンシーズン)	3,800円
	サイト 泊につき(ショルダーシーズン)	2,900円
	(オフシーズン)	2,000円
プライベートサイト料金	(オンシーズン)	2,600円
	サイト 泊につき(ショルダーシーズン)	2,000円
	(オフシーズン)	1,400円
フリーテントサイト料金	(オンシーズン)	500円
	サイト 泊につき(ショルダーシーズン)	400円
	(オフシーズン)	300円
ロッジ料金		
バリアフリーロッジ料金	(オンシーズン)	20,200円
	棟 泊につき(ショルダーシーズン)	17,000円
	(オフシーズン)	10,500円
Aロッジ料金	(オンシーズン)	19,500円
	棟 泊につき(ショルダーシーズン)	15,800円
	(オフシーズン)	9,700円
Bロッジ料金	(オンシーズン)	12,800円
	棟 泊につき(ショルダーシーズン)	10,700円
	(オフシーズン)	6,400円

※団体利用とは小・中・高等学校の学校行事及び、各種団体(子ども会・スポーツ少年団等の団体、部活動)が利用する場合とし、大学の場合は学校教育に寄与すると認められた場合とします。

3. コインランドリーを利用する場合

区分	利用料金	
洗濯機	回につき	300円
乾燥機	回につき	100円

4. パークゴルフ場を利用する場合(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれに準ずるものが利用する場合を除く。)

区分	利用料金	
パークゴルフ場(1日券)	人 日につき	250円
パークゴルフ場(団体利用)	人 日につき	220円
パークゴルフ場(共通回数券)	1枚綴りにつき	2,500円

パークゴルフ場(共通回数券) 市内二施設発行券	1枚1日につき	220円
パークゴルフ場(シーズン券)	1人1シーズンにつき	11,000円
クラブ一式(クラブ・ティー・ボール)	1本1日につき	100円

4. 利用促進事業

1) 広報活動

項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	備考
①パンフレットの配布	13施設	5施設	0施設	0施設	18施設	網走市観光協会、他
②チラシ・ポスターの配布	0施設	33施設	0施設	0施設	33施設	市内各所、他
③インターネットの活用	随時更新					ブログ、各SNS
④マスコミ等への情報提供	15件	7件	7件	6件	35件	かわら版専売所、他
⑤その他	7件	4件	2件	9件	22件	北海道じゃらん、他

①当公園のパンフレットを網走市内・近郊の観光施設のほか、網走管内の道の駅へ配布し、頒布について協力を依頼しました。

②チラシ・ポスターを作成し、公園内の各施設をはじめ、市内の類似施設や道内のキャンプ場へ配布し、貼付・頒布について協力を依頼しました。

③当公園ホームページで施設の基本情報・イベント情報等の様々な情報を提供するほか、ブログ・SNSを活用しリアルタイムな情報発信を行いました。

④かわら版各社専売所等へ広告掲載を行い、公園施設のPRやイベント開催の周知を図りました。

⑤WEB情報サイトや情報掲載誌等へ情報提供及び広告掲載を行い、公園施設のPRやイベント開催の周知を図りました。

2) 利用者満足度調査

北海道の利用者満足度調査が7月15日から9月25日に行われ「満足・やや満足」と回答する割合は93.6%という結果となりました。また、1月20日から2月20日まで指定管理者独自の利用者満足度調査をWEBアンケートを用いてセンターハウスへの掲示及び、各SNSで実施しました。調査結果は北海道に報告するとともに、当公園ホームページにおいても公表しました。(結果は別紙のとおり)

5. 地域住民等との共同

1) 周辺施設との連携

天都山周辺の博物館・博物館網走監獄やオホーツク流氷館など、網走を代表する各施設の理解と協力を得て、互いの持ち味を生かして連携を図り地域の魅力向上と活性化に取り組みました。

また、両施設が位置する天都山エリアに所在している各種施設、飲食店、果樹園などが連携・協力し、設立された「あばしり天空の里倶楽部」に参画、連携し、両施設の利用促進を図るとともに、設立目的である「エリア全体の魅力構築と活性化及び誘客促進」を達成するために地域住民である会員とともに各種事業に取り組みました。倶楽部ではエリアマップの作成・配布、エリア広告の掲出などを行いました。更には、エリア内で利用できるクーポン券発行などの協働事業を実施しました。

月日	内容
4月24日	網走湖クリーン作戦
4月27日	天空の里定期総会
6月1日～11月30日	天空の里スタンプラリー（テクテク網走めぐり2022）
6月21日	第1回天空の里エリア景観点検
7月6日～11月16日	ラジオde天空の里通信
8月10日	第2回天空の里エリア景観点検
8月27日～10月31日	天空の里倶楽部レンタサイクル
10月19日	第3回天空の里エリア景観点検
11月8日	天空の里モデルコース調査
11月10日	天空の里部会長会議
11月30日	令和4年度 第一回あばしり天空の里ワークショップ
12月13日	天空の里モデルコース発表会
3月22日	天空の里幹事会

2) 東京農業大学との連携

公園の自然環境を保全するために活用するという観点から、一般利用者に影響を与えない範囲で大学の授業や研究素材として開放し、基礎的資料の提供を仰ぐなど、相互連携を図り公園の更なる有効活用に結びつけました。

・9/27～9/28 第1回エゾヤチネズミ捕獲トラップ仕掛け

3) 網走市との連携

夏季に関しては、網走市健康管理課及び同教育委員会スポーツ課と連携し、6月から10月の毎週日曜日に公園内の起伏に富み、尚かつ、自然環境に優れた園路を活用し、地域住民を対象とした健康ウォーキング(ノルディックウォーキング)教室を開催し、その指導員として網走市健康推進委員及び網走市スポーツ推進委員に協力を仰ぎ、地域住民の健康維持増進に寄与すべく、当事業を継続的に推進しました。

冬季に関しては、社会教育部スポーツ課の協力を得て、歩くスキーコースを公園内園路等に整備して冬季スポーツ振興の場を提供しました。また、1月から2月の毎週土曜日に地域住民を対象とした「歩くスキーサークル」を開催し、その指導員として網走スキー協会及び網走市スポーツ推進委員に協力を仰ぎ、地域住民の健康維持増進に寄与しました。

さらに、網走市民が自分自身の健康状態を把握し、日々の健康作りに取り組むポイント制度「あばしり健康マイレージ」に参画し、健康ウォーキングと並行した連携を強化しました。

網走市と網走バス株式会社との連携事業である予約制バス「どこバス」の運行へ提携要望し、専用バス停を当公園へ設置することで、利用者の利便性の向上や障がい者・高齢者への配慮を図りました。

4) 社会福祉協議会との連携

網走市社会福祉協議会(市民活動センター)で実施する各種講座及び地域奉仕活動の紙媒体による案内を公園内で掲示するなど一般市民にも周知しました。また、登録ボランティアが参加しやすい事業を展開し、ボランティア活動の場を提供するとともにボランティア思想の普及向上に努めました。

5) 教育機関との連携

自然に囲まれていながら整備された公園の特色を生かして、管内の各学校(幼稚園から高校まで)に社会活動の場として宿泊研修や(炊事)遠足並びに社会科見学等を誘致し、広域利用に繋げました。また冬期に関しては、市内小中学校において体育の授業として行われている歩くスキー

コースの提供及びスキー用具の貸出について支援・協力をしました。また、ボランティア活動を奨励している学校や単位として認めている学校との交流を深め、ボランティア思想の普及向上に努めました。

6) 各事業者との連携

当公園の周辺には果樹園や網走湖などがあり、これらの体験事業者の協力を仰ぎ、キャンプ場利用者は、サクランボ狩り体験・カヌー体験などが通常料金よりも安価で体験できるよう、連携を進めました。更には、食肉販売店・水産会社などとも連携・協力を図り、キャンプ場までの宅配サービスを実施しました。

7) 花壇整備ボランティア

公園花壇(宿根草)整備ボランティア「花ボラ・アスチルベ」の活動期間を5月から10月までとし、花壇整備アドバイザー(1名)を配置したうえで7箇所ある花壇の除草、花がら摘み、株分けなどの作業を計画的に実施し、環境美化を図るとともにボランティアの育成を図りました。

北海道より提供された一年草の花苗492株を市民ボランティア団体の網走市フラワーマスター連絡協議会と網走若葉幼稚園により、ぼうけんの森花壇へ6月3日に植栽してもらいました。また、キャンプ場、センターハウス、パークゴルフ場、駐車場へプランターを設置し植栽・管理を行いました。

8) パークゴルフ場のボランティア管理

日中における管理業務をパークゴルフ場天都の杜愛好家で組織する「友の会」の協力を得て実施しました。(午前11時00分又は12時00分～午後1時00分までの間1名を配置)

9) 各種委員会の設置

公園施設の運営、利用方法の意見聴取のため、パークゴルフ場「天都の杜」運営委員会を設置し、4月22日に総会を開催しました。事業報告及び事業計画を説明した上で公園の運営方法について助言をいただきました。また、下部組織の天都の杜友の会は、パークゴルフ場の管理・運営においてもボランティアとして、協力いただいているため今後も継続して協力をお願いしました。

◇パークゴルフ場「天都の杜」運営委員会・・・委員数8名

※委員会事務局 公園管理事務所 所長

◎年間ボランティア数 【管理の目標：年間ボランティア参加者数600名】 参加者:693名

参加事業名等	人数		
	計画	実績	対比
パークゴルフ場運営委員会総会等	310人	228人	-82人
花ボラ・アスチルベ	220人	338人	118人
ノルディックウォーキング教室	20人	49人	29人
歩くスキー関係事業	20人	57人	37人
その他市民によるボランティア	30人	21人	-9人
合計	600人	693人	93人

IV維持管理業務

1. 植物管理状況

植物(樹木・草花)及び芝生管理業務については年間計画及び工程表に基づき適正に管理しました。

作業者	業務区分	作業箇所		実施回数						
				第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計			
アスチルベ	草花管理	ぼうけんの森	宿根草	1回	5回	3回	9回			
		キャンプ場		9回	29回	6回	44回			
フラワーマスター		ぼうけんの森	一年草	2回	3回	0回	5回			
直営作業員		プランター		5回	7回	0回	12回			
委託業者	芝生等管理	草刈り	<ul style="list-style-type: none"> ・場内芝地 ・パークゴルフ場 ・多目的スポーツ広場 ・わんぱく広場 ・外周路 	「芝生管理業務状況」 のとおり						
		芝刈り								
		施肥								
		目土								
		エアレーション								
		その他								
直営作業員	芝生等管理	直営芝刈り(乗用型)	法面	40回	法面	52回	法面	2回	法面	94回
			平面	47回	平面	91回	平面	3回	平面	141回
		芝生補修	0回	0回	0回	0回				
		歩行型	9回	5回	0回	14回				
		刈払機	28回	49回	0回	77回				
	樹木管理	下草刈り	<ul style="list-style-type: none"> ・センターハウス ・センターロッジ ・ぼうけんの森 ・場内駐車場芝地 ・外周路 ・果樹園 	5回	3回	0回	8回			
		高中木整姿		4回	2回	0回	6回			
		生垣刈込み		2回	4回	10回	6回			
		低木整姿		0回	3回	0回	3回			
		制姿剪定		0回	0回	0回	0回			
		病害虫駆除		0回	0回	0回	0回			
		冬囲い外し		8回	0回	0回	8回			
		冬囲い		0回	0回	1回	1回			

◎芝生管理実施状況

(単位: ㎡:回)

管理箇所	面積		業種・回数				第1四半期				第2四半期				第3四半期				合計			
							業種・回数				業種・回数				業種・回数				業種・回数			
	平面部	法面部	芝刈	施肥	除草	目土	芝刈	施肥	除草	目土	芝刈	施肥	除草	目土	芝刈	施肥	除草	目土	芝刈	施肥	除草	目土
オホーツク公園																						
テントサイト	19,100		8			5				13				1				19				
				2					1				0				1				2	
					1				1				0				0				1	
						1							0				0				1	
ロッジサイト	9,300		8			5				9				1				15				
				2					1				0				1				2	
					1				1				0				0				1	
						1							0				0				1	
場内芝生地	43,600	5,900	4			4				9				1				14				
				2					1				1				0				2	
					1				1				0				0				1	
						1							0				0				1	
スポーツ広場	13,450		5			7				15				2				24				
				2					1				0				1				2	
					1				1				0				0				1	
						1							0				0				1	
わんぱく広場	6,800		5			4				8				1				13				
				1					1				0				0				1	
					1				1				0				0				1	
外周園路	6,000	25,000	1			0				0				0				0			0	
				1					1.0					0.0				0			1	
パークゴルフ場																						
グリーン	1,385		15			12				20				3				35				
				2					1				0				1				2	
					1				1				0				0				1	
						2			1				0				1				2	
フェアウェイ	4,287		15			12				20				3				35				
				2					1				0				1				2	
					1				1				0				0				1	
						2			1				0				1				2	
セミラフ	4,287		8			5				13				2				20				
				2					1				0				1				2	
					1				1				0				0				1	
						2			1				0				1				2	
ラフ	16,261		3			5				13				2				20				
				1					1				0				0				1	
					1				1				0				0				1	
						2			1				0				0				1	
イベント広場	2,360	1,060	3			8				22				2				32				
				2					1				0				0				2	
					1				1				0				0				1	
						1			1				0				0				1	

◎実績延べ面積

(単位: ㎡)

		4月~6月	累計	7月~9月	累計	10月~11月	累計	合計
芝刈	平面	627,434	627,434	1,413,034	2,040,468	168,532	2,209,000	2,209,000
	法面	31,960	31,960	6,960	38,920	0	38,920	38,920
施肥		120,830	120,830	0	120,830	51,809	172,639	172,639
除草		120,830	120,830	0	120,830	0	120,830	120,830
目土		54,169	54,169	0	54,169	9,959	64,128	64,128

2. 施設・設備等管理

1) 法廷点検等

法令等の定めに従い、別紙2のとおり各種機械設備等の点検及び保守を行いました。

2) 施設備品等の補修

各部材の劣化、破損、変形等について日常的に点検し、迅速に修理・修繕等（大規模修繕を除く）を行い、機能・安全・美観上良好な状態に保ちました。

3) 1件100万円を超える補修は下記のとおりです。

完成年月日	工事名	工事業者
令和5年2月14日	ころころひろば内装修繕工事	(有)インテリアワタナベ
令和5年3月13日	キャンプ場Aロッジ手摺修繕	(株)高田メンテナンス

4) 施設管理修繕状況及び管理状況を電子データで蓄積・管理しました。

3. 衛生管理

利用者が快適に利用できるように、日常清掃、定期清掃を適宜に組み合わせて、施設及び敷地の美観と衛生を保ちました。

1) 日常清掃及び特別清掃等

(単位：回)

	対象部位	実施内容	規 模	実施回数		
				計画	実績	対比
日常清掃	キャンプ場ゾーン	(委託)		165	165	0
	センターロッジ	(直営)・(委託)	395.19㎡	200	165	-35
	センターハウス	(直営)	1,624.02㎡	359	359	0
	基幹休憩舎		139.38㎡	186	184	-2
	パーク休憩舎		29.03㎡	186	181	-5
	パークトイレ棟		32.26㎡	186	181	-5
	ぼうけんの森トイレ棟		20.88㎡	186	184	-2
	素材ゾーントイレ棟		17.1㎡	186	184	-2
	北駐車場トイレ		40.96㎡	186	186	0
特別清掃	センターハウス	(委託)	87.34㎡	1	1	0
	センターロッジ		139.38㎡	1	1	0
	宿泊ロッジ		63.5㎡	1	1	0
	基幹休憩舎		958.39㎡	1	1	0
塵芥処理	公園ゾーン	収集処理	1カ所	10	6	-4
	キャンプ場ゾーン	収集処理	1カ所	10	13	3

部位別作業状況（キャンプ場ゾーン）

（キャンプ場ゾーン）

区分	部位	面積 (㎡)	作業期間	作業日数	作業日			
オートキャンプ場	センターロッジ	事務室	45.50		0日			
		休憩室	18.00		0日			
		警備室	28.00		0日			
		てんとホール	156.75	4月29日～10月10日	165日	期間中毎日		
		男性トイレ	11.88		165日			
		女性トイレ	18.00		165日			
		身障者用トイレ	6.25		165日			
		男性更衣室	11.24		165日			
		女性更衣室	15.34		165日			
		男性シャワー室	6.46		165日			
		女性シャワー室	6.46		165日			
		コインランドリー	5.76		165日			
		ホール及び廊下	89.55		165日			
		風除室(1)(2)(3)	21.25		165日			
		テラス及びポーチ	46.25		165日			
	正面広場(平板部)	1,030.70	165日					
	Aロッジ	6～8人用 11棟	69.53		4月29日～10月10日		※使用の都度	
	Bロッジ	4～5人用 6棟	32.26		4月29日～10月10日		※使用の都度	
	場内施設	展望台	12.00	4月29日～10月10日	165日	期間中毎日		
		サンルーム	16.83		使用の都度			
トイレ棟(1)(2)(3)		83.44	165日		期間中毎日			
炊事棟2棟		60.00	※使用の都度					
バーベキューハウス 3棟		404.96	※使用の都度					
バーベキューコーナー野外炉 7基		69.44	※使用の都度					
バーベキューコーナー水場 2カ所		4.86	※使用の都度					
キャンパーズシアター		600.00						
ファイアーサークル		490.00	4月29日～10月10日		165日	※期間中毎日		
キャンプサイトシンク 18基		19.44	4月29日～10月10日		※使用の都度			

（公園ゾーン）

区分	部位	面積 (㎡)	作業期間	作業日		
建物	センターハウス	事務室	74.94	特別清掃	4月22日 ～ 4月25日	
		宿直室	12.40			
		研修室(1)(2)	155.69			
		更衣室	9.45			
		男性トイレ	19.51			
		女性トイレ	19.51			
		身障者用トイレ	3.89			
		ホール及び廊下	254.91			
	基幹休憩舎	男性トイレ	16.50			11月19日
		女性トイレ	16.50			
身障者用トイレ		5.00				
	休憩室	64.00				

※1 各トイレについては、1日1回以上の基準であるが繁忙期と定める日は1日2回以上の清掃を実施。

※2 センターハウスについては通年、直営で実施。

4. 除雪等業務

利用者が安全かつ快適に利用できるように積雪時に実施しました。

(除雪業務)

項目	対象	実施期間	実施時間	実施日数
除雪ドーザー	公園内	1月4日～2月21日	39時間00分	18日
除雪作業員			23時間00分	

(融雪剤散布業務)

対象	散布面積	実施期間
公園内	111,530 m ²	3月15日

V. 建物、工作物及び備品等の管理

建物、工作物及び供与物品を善良なる管理者の注意をもって管理しました。また、物品購入、廃棄物の異動が生じる場合は、速やかに北海道に報告しました。

VI. 安全管理

1. 警備業務

項目	対象	業務内容	実施期間・時間	実施日数		
				計画	実績	対比
日常巡視	キャンプ場内	「オホーツク公園警備業務の内容」に準じるものとする	4月1日 ～ 10月31日	1回以上/日 153日	1回/日 153日	0日
	公園内		4月1日 ～ 3月31日	1回以上/日 359日	1回/日 359日	0日
夜間警備						
有人警備	キャンプ場内	「オホーツク公園警備業務の内容」に準じるものとする	4月1日 ～ 10月9日	1回以上/日 1日	3回/日 133日	0日
	公園内		4月1日 ～ 10月9日	1回以上/日 1日	2回/日 133日	0日
機械警備	センターハウス	業務内容委託契約書による	4月1日 ～ 3月31日	毎日	365日	0日

2. 有害駆除

	対象部位	実施内容	
有害駆除 安全を確保する 必要最小限の範囲	公園ゾーン	アリの巣駆除	該当なし
		蜂の巣駆除	
		テントウムシ・カメムシ	
		カラス対策	
	キャンプ場ゾーン	アリの巣駆除	該当無し
		蜂の巣駆除	1回
		テントウムシ・カメムシ	該当なし
		カラス対策	

3. 遊具点検

毎日、使用開始前及び定期巡回時に日常点検として目視、触診等による点検を行い、遊具施設の安全性を確認し、必要な修繕・調整を行いました。その他、定期点検（週1回・月1回）及び精密点検（年1回）を実施しました。

VII. 事故処理等

1. 安全管理対策

1) 公園施設の日常点検を実施し、安全対策を適切に行いました。

2) 利用者の不慮の事故に備えるため、センターハウス及びセンターロッジへ自動体外式除細動器（AED）を設置しました。万が一に備え、協定書に定める施設賠償責任保険へ加入しました。

3) 保険加入 管理の目標（事故発生数）0件以内】

保険種類	対象	保障内容	期間
施設賠償保険	オホーツク公園入場者 110,000人	身体：1名につき3,000万円	令和4年4月1日午後4時から 令和5年4月1日午後4時まで
		身体：1事故につき1億円	
		財物：1事故につき1億円	

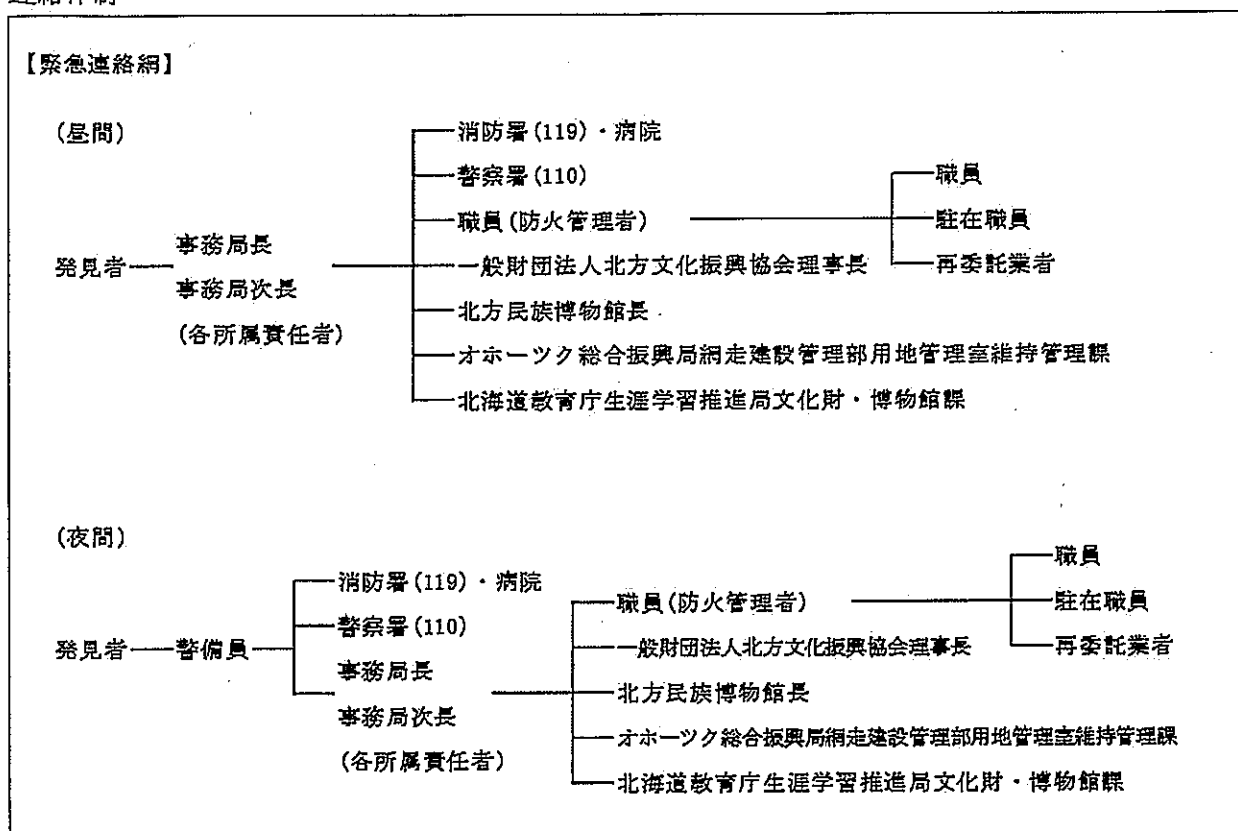
2. 事故処理等

施設内で事故が発生した場合は、直ちに被災者へ必要な措置を施すとともに、管轄の警察署等関係機関と連携し、適切な事故処理を行い、速やかに北海道又は北海道教育委員会へ報告するとともに、事故の原因について究明し、安全対策・被害の拡大再発防止策を講じる管理体制の強化を図りました。

災害や近年頻発している鳥獣の出没等が発生した場合は、利用者の安全確保を最優先に考え、避難誘導等の対策を管轄の警察署等関係機関と連携し施設の被害状況についても確認を行い、必要な措置を講じるとともに、速やかに北海道又は北海道教育委員会へ報告しました。

災害、荒天、事故等により施設の利用が不可能と認められた場合は、施設の利用禁止、開閉館時間の変更、立入禁止区域の設定などその他必要な緊急措置を講じました。敷地内の災害復旧は、軽微なものは指定管理者が行いました。事故・災害等が発生した場合は、公園・博物館の両施設で連絡を密にし、情報共有するとともに、利用者の安全確保等について、避難場所としての施設の相互利用を含め適切かつ迅速な対応を行いました。

連絡体制



VII. その他

1. 温室効果ガス排出削減に向けた取組

1) 電力使用等による排出量削減の取組

電力調達にあたっては、コストのみならず、CO₂排出係数や再生可能エネルギー導入率等を考慮して事業者選定を行い北海道ガス株式会社と契約締結しました。

2) 施設・設備等及び公用車の取組

施設・設備等の運用にあたっては、適切な管理を行い、省エネルギーの取組を行いました。

①施設内における冷暖房温度・時間の最適化を徹底し、冷暖房設定温度の適切な管理に努めました。

②給湯・手洗い時の節水を徹底するなど、ガス・灯油ボイラー給湯器等の効率的な使用に努めました。

③ブラインドの活用による太陽光や冷気の遮断及び暖気の放出防止を徹底し、室内温度の適切な保護に努めました。

公用車及び軽自動車(軽トラック)の運行にあたっては、車両整備を適切に実施し、急発進・急加速の回避やアイドリングストップを励行するなど環境への負荷の少ない運転に努めました。

また、花壇整備を行うなど、公園内の緑化推進に努めました。

3) 職場における職員の率先実行の取組

日常業務において、職員一人ひとりの実践が求められる省エネ・省資源の取組について、全職員に確実な率先実行の徹底を図りました。

①昼休み・退庁時の消灯、研修室やトイレなどの使用時のみの点灯の徹底により、照明時間の短縮に努めました。

②安全確保に支障の無い範囲での減灯、残業時の不要な箇所の消灯などを徹底し、ライトダウンに努めました。

③パソコンやコピー機などのOA機器等は、省電力機能の活用、非使用時のこまめな電源オフを徹底するとともに、長時間使用しないときにはコンセントを外すなどにより、電力消費の削減に努めました。

④冷蔵庫や電気ポットなどの設置台数は必要最小限とし、家電製品等の適正な使用に努めました。

⑤執務室では、室温にあわせて、暑さをしのぎやすい服装や、体感温度を上げる重ね着のほか膝掛けの利用など、年間を通して働きやすい服装（ナチュラルビズスタイル）の励行に努めました。

4) 省資源の取組

紙類の適正な使用、節水の励行、プラスチック製品の使用削減を徹底し、省資源に向けた取組を行いました。

①両面コピー・紙の裏面活用の徹底、会議等資料の簡素化、ビジネスチャットツールを活用によるペーパーレス化、ファイル・封筒の再使用などを徹底し、紙使用量の削減に努めました。

②職員自らトイレ・給湯における節水の励行を図るとともに、利用者に対しても節水呼びかけるポスターの掲示を行うなど、節水の推進に努めました。

③買い物時のマイバッグ持参によるレジ袋利用辞退、職場や日常におけるペットボトルやプラスチック製品の使用自粛などを励行し、プラスチック製品使用の削減に努めました。

5) 廃棄物の発生抑制・適正処理の取組

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組などを通じて、一般廃棄物の減量化を進め、「ごみ」と各種「資源ごみ」の分別の徹底を図るなど、廃棄物の発生抑制・適正処理を徹底しました。

①備品類・電気製品等について、長期間利用・繰り返し使用を励行し、詰め替え使用可能な製品の使用に努めました。

②物品購入に当たっては、再生品や、使用後の回収・再利用又はリサイクルしやすい製品の優先的な購入に努めました。

6) フロン類の適正管理の取組

フロン排出抑制法及び関係法令に基づくフロン類使用対象機器の簡易点検・定期点検等を確実に実施し、適切な廃棄に努めました。

7) 環境配慮契約等の取組

環境配慮契約法の趣旨を踏まえ、環境負荷の低減に資するグリーン購入対象商品、及びエコマーク等環境に配慮した製品の購入に努めました。また、道産木材製品の購入による地材消費の取組に努めました。

8) 環境に配慮したイベントの推進

イベントの実施にあたっては、「北海道エコイベント指針」に基づくエコチェックシートを活用するなど、環境への配慮に努めました。また、イベントの取組結果を踏まえ、カーボンオフセットの実施に努めました。

9) 研修・普及啓発の取組

職場研修やビジネスチャットツールなどを活用し、温室効果ガスの排出抑制に向けた取組についての周知を行うなど、職員一人ひとりが地球温暖化に対する理解を深め、環境に配慮できるように意識向上を促しました。また、施設利用者に対するポスターの掲示による取組の啓発や、委託業者に対する取組の要請に努めました。

10) その他の取組

森林によるCO₂吸収量増加を図るため、計画的に人工林の広葉樹への樹種転換を図るなど、森林の適切な管理・保全を推進しました。

2. 各種報告等

1) 事業報告書等の提出

ア. 業務実施状況等について、毎年度終了後30日以内に北海道に事業報告書を提出します。

イ. 毎月の施設の利用者状況及び利用料金等の収入状況などについての月例業務報告書を翌月の10日までに、また、月例報告集約した、四半期業務報告書を7月、10月、1月、4月の各月の10日までに北海道に提出しました。

2) 年次業務計画書の提出

年次業務計画書を前年度の2月末までに(ただし、指定期間の最初の年度にあたっては本協定の締結後速やかに)北海道へ提出しました。

3) 占有等の進達及び協議

本施設の占有や施設内での映画撮影などの行為及び施設の全部又は一部を独占して使用するような各種イベント等については北海道の許可を必要とする場合があるため、このような申請があった場合、若しくは申請者から相談があった場合は、北海道と緊密な連絡を図るとともに、申請書類を北海道へ送付しました。

4) 指定管理者の名称の表示

施設が指定管理者により管理運営されていることを示すため、指定管理者名と北海道の連絡先を施設内に表示するとともにパンフレット等にも明示しました。

3. 指定管理者の名称の表示

本施設が指定管理者により管理運営されていることを示すため、指定管理者名と北海道の連絡先を各施設内に表示するとともにパンフレット等にも明示しました。

4. その他

1) 本施設の管理運営等に関する課題について、北海道と意見交換を適切に行いました。

2) ここに定める業務のほか、本施設の業務を円滑に推進するため、必要な業務を行いました。

IX管理の目標

北海道の指定管理者として、北海道立オホーツク公園の適切な管理運営業務を行いました。

達成目標及び 業績指数	指 標	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	累 計	対 比
利用者数	163,600 人	37,998 人	71,148 人	20,117 人	19,531 人	148,794 人	△14,806 人
	達成率	23.2%	66.7%	79.0%	90.9%	90.9%	90.9%
有料施設 入場者数	15,200 人	4,245 人	11,844 人	1,472 人	0 人	17,561 人	17,561 人
	達成率	27.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事故発生件数	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
利用者満足度 の向上	80%	-	-	93.6%	-	93.6%	93.6%
職員の資質向 上を図る研修 の実施	2回	5回	1回	3回	1回	10回	10回
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年間ボランテ ィア参加者数	600 人	269 人	269 人	101 人	55 人	694 人	694 人
	達成率	46.8%	89.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

利用者数の月別内訳は別紙3のとおりです。

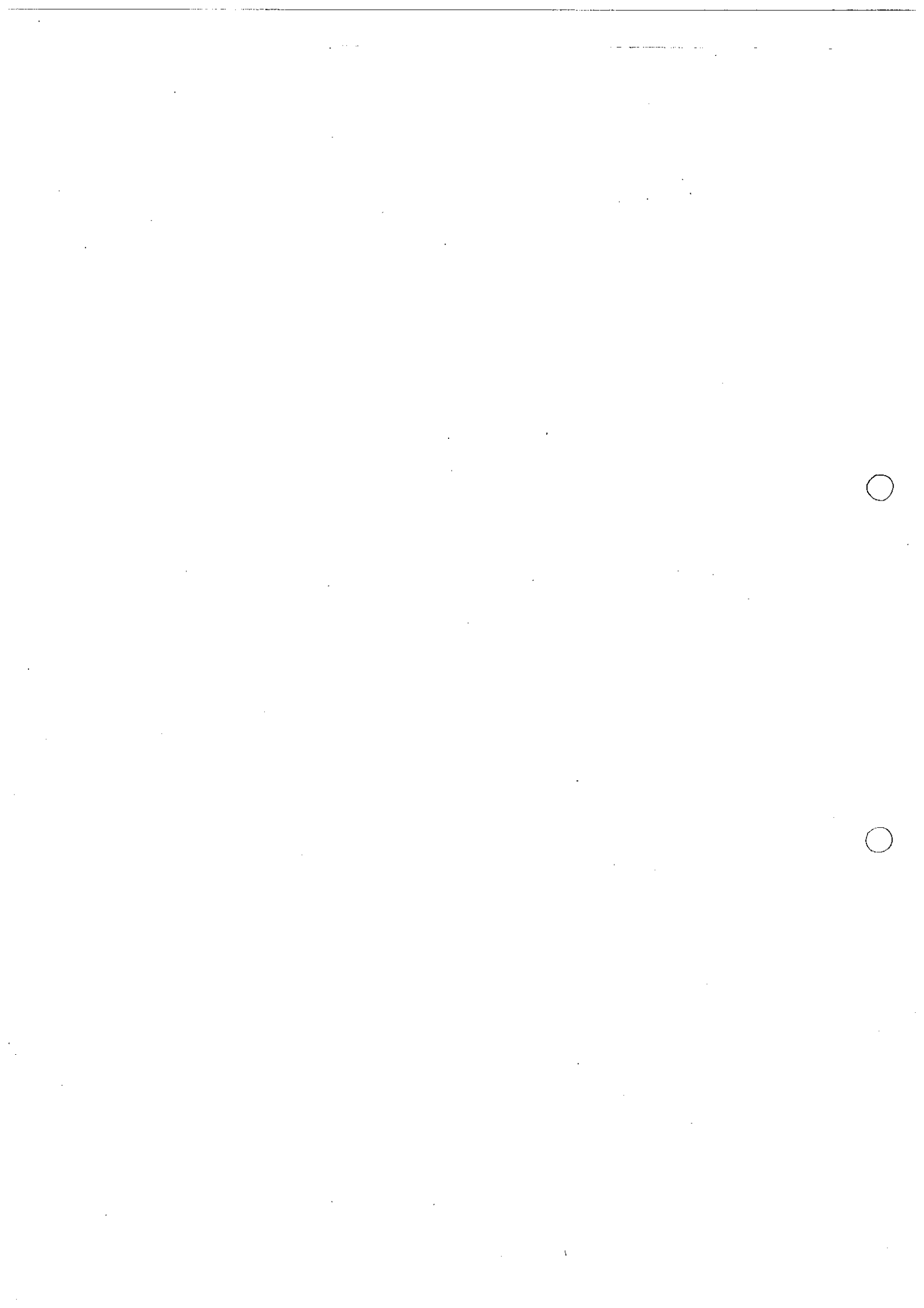


V 維持管理業務
2. 施設・設備等管理
1) 施設点検等

点検項目	実績回数												合計													
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
消防用設備点検 (外観確認年1回 総合点検年1回)	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気設備点検 (月1回)	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自動下り点検 (年2回)	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給排水・ボイラー点検 (年2回)	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水素施設保守点検 (年2回)	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

VI安全管理
3. 遊具点検

点検項目	実績回数												合計													
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
風外遊具 日常点検 (船舶使用開始前及び定 期巡回時に1回)	2	2	0	0	3	3	0	0	3	3	0	0	3	3	0	0	3	3	0	0	3	3	0	0	186	186
定期点検 (月1回以上)	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	7	7
精査点検 (年1回以上)	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
風内遊具 日常点検 (船舶使用開始前及び定 期巡回時に1回)	30	30	0	0	30	30	0	0	30	30	0	0	30	30	0	0	30	30	0	0	30	30	0	0	359	359
定期点検 (月1回以上)	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	12	12
精査点検 (年1回以上)	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1





1. 再委託した業務

令和4年度 再委託業務一覧

	再委託業務名	備考
1	北海道立オホーツク公園及び北方民族博物館及び北方民族博物館芝生管理委託業務	敷地内の一部直営あり
2	北海道立北方民族博物館及び北海道立オホーツク公園清掃警備等庁舎管理委託業務	公園はキャンプ場の清掃委託業務のみ
3	北海道立北方民族博物館及び北海道立オホーツク公園に設置する自家用電気工作物保安管理委託業務	
4	北海道立オホーツク公園消防用設備等保守点検業務	
5	北海道立オホーツク公園機械警備委託業務	
6	北海道立オホーツク公園北駐車場トイレ自動ドア保守点検業務	
7	北海道立オホーツク公園内施設水抜・凍結防止及び通水点検委託業務	
8	北海道立オホーツク公園塵芥処理委託業務	
9	北海道立オホーツク公園無線 LAN システムサポートサービス保守委託業務	
10	北海道立オホーツク公園パーキングシステム保守委託業務	
11	北海道立オホーツク公園屋外遊具保守点検委託業務	
12	北海道立オホーツク公園室内遊具及び玩具点検保守点検委託業務	
13	北海道立オホーツク公園及び北海道立北方民族博物館敷地除排雪委託業務	
14	北海道立オホーツク公園融雪剤散布委託業務	

2. 再委託した期間

上記業務について、それぞれ令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間で必要な期間



令和5年4月26日

道立公園名	北海道立オホーツク公園
-------	-------------

指定管理業務

令和4年度
北海道立オホーツク公園運営事業会計収支決算書

指定管理者	一般財団法人 北方文化振興協会
-------	-----------------



令和4年度 北海道立オホーツク公園運営事業会計収支決算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 事業活動収入の部

(単位:円)

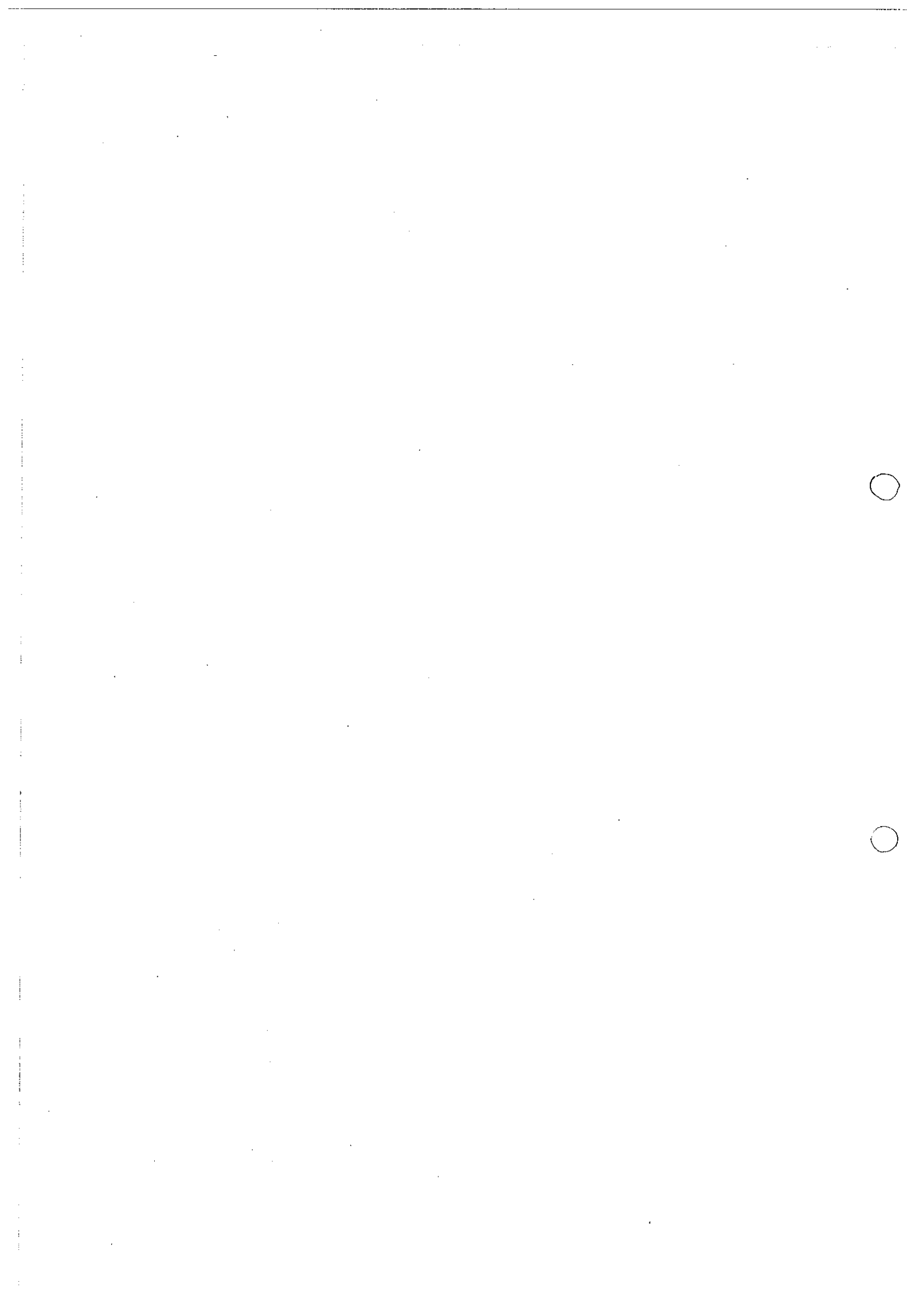
勘定科目名		予算額 A	決算額 B	差異 A-B	備考
公園運営 事業収益	利用料金収益	23,414,000	28,734,110	△ 5,320,110	キャンプ場、パークゴルフ場
	受取負担金収益	62,000,000	63,690,000	△ 1,690,000	北海道立オホーツク総合振興局
	雑収益	0	103,200	△ 103,200	北ガスほか
事業活動収入計		85,414,000	92,527,310	△ 7,113,310	

2 事業活動支出の部

(単位:円)

勘定科目		予算額 A	決算額 B	差異 A-B	備考
公園運営 事業支出	給料手当	10,596,000	10,847,946	△ 251,946	職員給料
	臨時雇賃金	14,640,000	13,675,936	964,064	臨時職員賃金
	賞与	3,567,000	3,168,151	398,849	職員賞与
	福利厚生費	3,421,000	3,080,643	340,357	社会保険料等
	旅費交通費	420,000	230,918	189,082	各会議出席、他
	通信運搬費	602,000	575,192	26,808	電話代、郵送代
	減価償却費	221,000	270,528	△ 49,528	器具備品
	消耗什器備品費	100,000	0	100,000	公園維持管理用機器、事務機器等
	消耗品費	2,000,000	3,833,140	△ 1,833,140	施設維持・運営消耗品購入
	修繕費	2,700,000	6,391,744	△ 3,691,744	経年劣化による各施設、設備の修繕
	印刷製本費	120,000	232,100	△ 112,100	パンフレット及び料金表印刷
	燃料費	2,211,000	2,670,436	△ 459,436	ガソリン、灯油
	光熱水費	4,544,000	4,419,225	124,775	電気、水道、ガス
	賃借料	5,299,000	5,569,254	△ 270,254	公用車、複写機、印刷機等
	保険料	212,000	159,110	52,890	施設賠償責任、軽トラック、原付バイク
	諸謝金	30,000	0	30,000	職員講習会に係る講師料
	租税公課	3,640,000	4,660,861	△ 1,020,861	消費税・法人税
	負担金	149,000	189,100	△ 40,100	パークゴルフ場市内三施設共通回数券
	広告宣伝費	270,000	307,000	△ 37,000	公園施設に係る周知等
	委託費	30,327,000	28,648,208	1,678,792	芝生管理、電気設備等、消防設備保守点検
手数料	132,000	172,857	△ 40,857	振込手数料等	
図書費	47,000	63,753	△ 16,753	新聞購読料等	
交際費	0	4,933	△ 4,933	春除雪お礼	
雑費	166,000	345,404	△ 179,404	NHK受信料、寝具クリーニング代等	
事業活動支出計		85,414,000	89,516,439	△ 4,102,439	
事業活動収支差額		0	3,010,871	△ 3,010,871	
経常外費用	固定資産除却損	0	89,890	△ 89,890	
雑損失		0	1,850	△ 1,850	
当期収支差額		0	2,919,131	△ 2,919,131	





公園利用者の分析

I 公園利用者状況(有料施設と無料施設の総利用者)

1. 達成できなかった要因

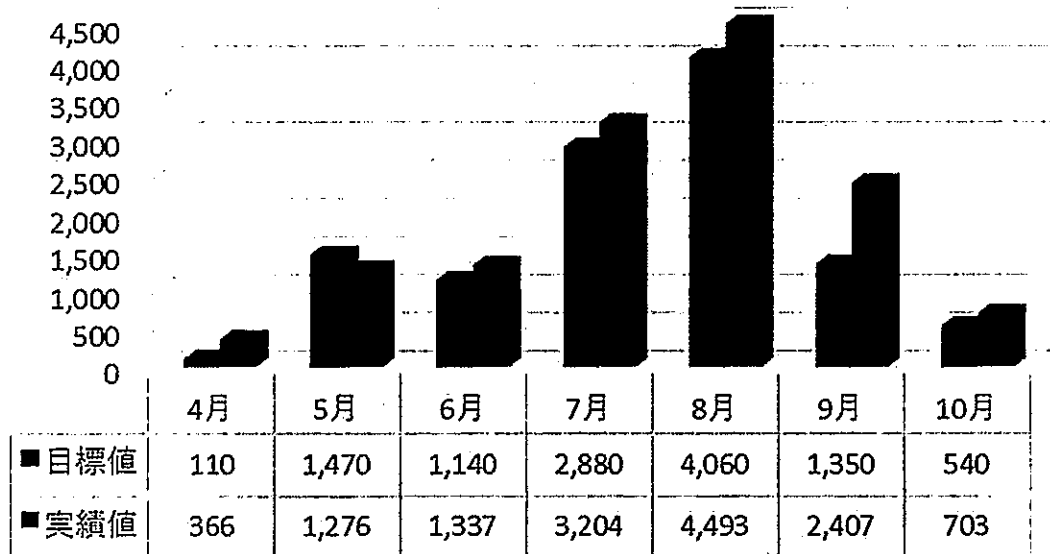
令和4年度における北海道が示す公園利用者数16万3,600人の目標値に対し、14万8,794人(対比90.95%、14,806人減)となりました。達成できなかった要因は、密集する可能性が多い、ころころひろば(室内遊戯室)及びテーブル数を減らしたホールの利用を避けることをはじめ、供用開始から6年と8年が経過した、ぼうけんの森(屋外遊具施設)と、ころころひろばの人気度がある程度、薄れてきたことも考えられます。

II 有料施設入場者数(キャンプ場・パークゴルフ場)

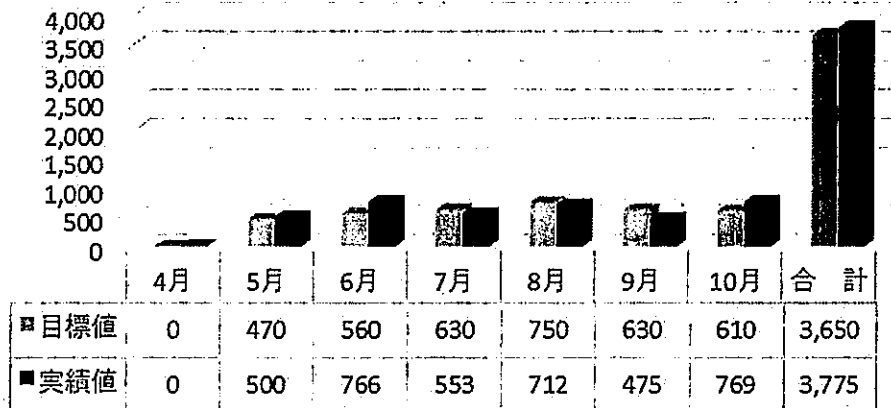
1. 有料施設入場者数の達成状況

北海道の管理の目標値は1万5,200人。結果、1万7,561人(対比115.53%、2,361人増)となりました。3年ぶりに緊急事態宣言など新型コロナウイルス対策の行動制限がなかった令和4年度のゴールデンウィーク(GW)は、4月29日から5月8日の最大10連休ということもあり、開設当初から来場者は伸びました。期間中、7月は天候に恵まれなかったこともあり、利用者数は落ち込んだものの、その他の月は好調で管理の目標を達成することができました。

キャンプ場利用者数の目標値と実績値グラフ

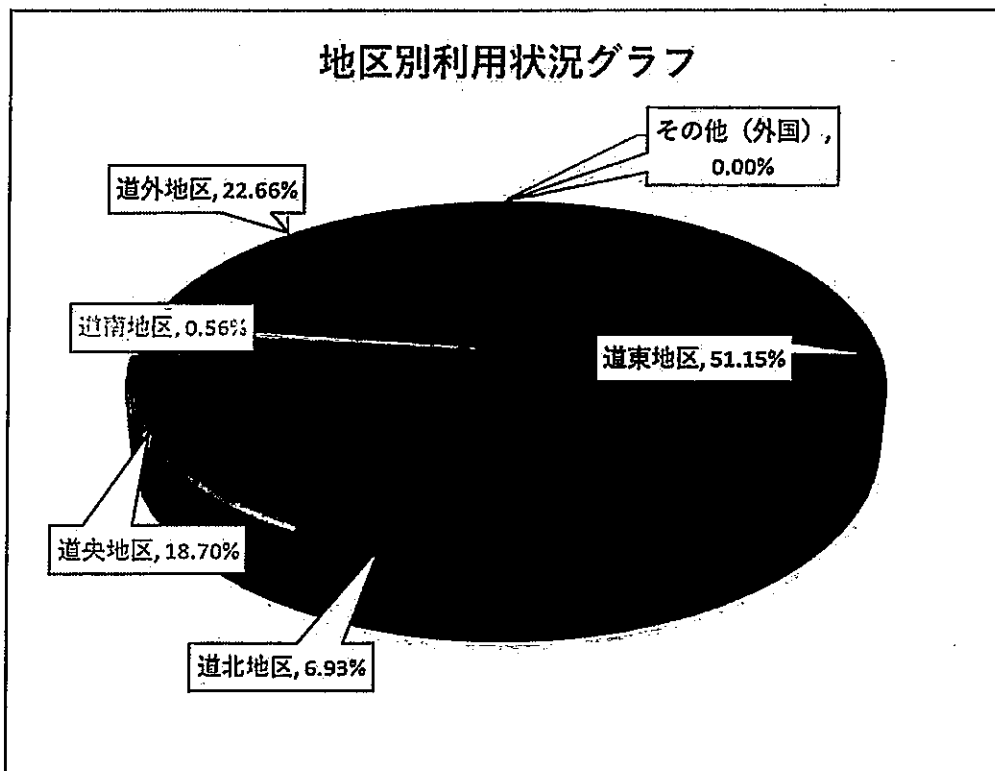


パークゴルフ場利用者数の目標値と実績値 グラフ



2. キャンプ場利用地区別

47都道府県のうち、佐賀県、長崎県、鹿児島県の3県の利用者がありませんでした。(R3年度は和歌山県、鳥取県、山口県、愛媛県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県の8県の利用なし)
 最も多いのは北海道 10,662人(77.34%)であり、次に道外地区 3,124人(22.66%)でした。
 道外地区で最も多いのが東京都(683人)、大阪府(524人)の順番です。
 北海道においては、道東地区が最も多く7,051人(66.13%)、うち網走管内は4,099人となっています。次に多いのが、道央地区 2,578人(24.18%)、道北地区 955人(8.96%)、道南地区 78人(0.73%)となっております。訪日外国人の利用者数は0人でした。



3. 宿泊数と1組当りの人数

日帰りのデイキャンプも含め、計3,719組の利用がありました。うち宿泊数では1泊2日の利用が最も多く、次に2泊→4泊以上→3泊の順となりました。そして、1組当たりの利用人数では2人が最も多く、次に5人以上、4人→3人・1人での利用状況となりました。2人での利用は、まさに高齢化社会であるシニア夫婦による利用。また、5人以上の利用が多かった理由としては、農大キャンパス参加者の団体利用によるものです。更には、ソロキャンプとファミリーキャンプ(4人)が同数となり、ソロキャンプ人口が年々伸びています。

4. 各施設の稼働率

全体の稼働率は33.27%。その中でもファミリー向けの5人用ロッジが43.23%と最も高く、次に電源・シンクが整備され区画されているプライベートサイト34.30%、次に最も安価なフリーテントサイト34.19%、そして、キャンピングカーサイトと8人用ロッジが共に26.82%の順となりました。令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の防止に伴い、風通しがよい環境下でのレジャー活動に注目が集まるなか、昨今のキャンピングブームと相まってキャンプ場のニーズが思った以上に好調でした。また、上記3のとおり、農大のオープンキャンパスに参加するための宿泊先として、大阪府内の高校2校がロッジ計12棟を最大4泊5日で利用いただいたことが非常に大きかったと言えます。

5. ペット同伴

当キャンプ場でペット同伴可としている施設は、プライベートサイト20サイトのうち4サイト、キャンピングカーサイト8サイトのうち3サイトのみとしています。令和4年度はプライベートサイト186組、キャンピングカーサイト105組の利用がありました。

6. 予約受付状況

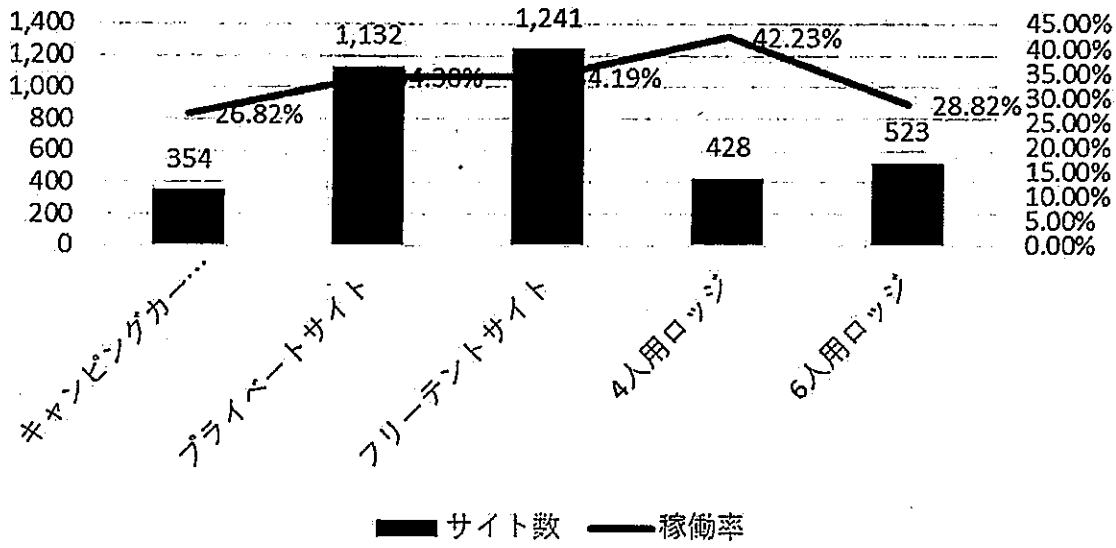
キャンプ場宿泊者がどのような方法で予約されたか分析した結果、次のとおりです。

口頭(窓口)予約が比較的上位にある理由は、チェックアウト時に宿泊の延長をされる方が多いためです。

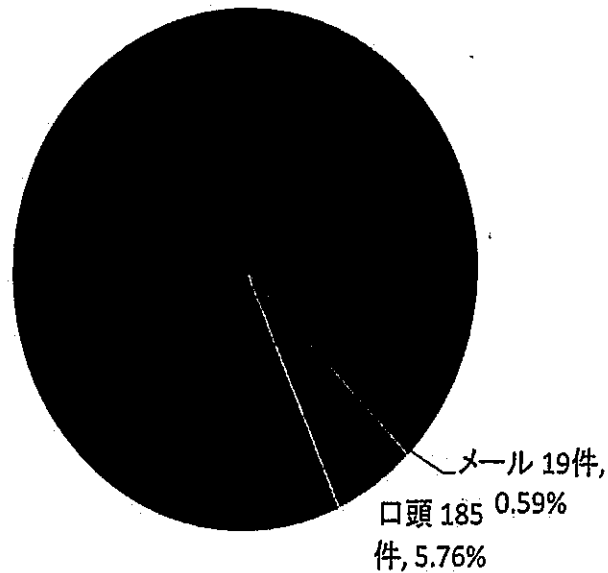
①WEB:56.73%(1,821件) ②TEL:36.92%(1,185件) ③口頭(窓口):5.76%(185件)

④メール:0.59%(19件)

キャンプ場稼働率グラフ



キャンプ場予約手段状況のグラフ



7. 利用料金収入額

キャンプ場については、予算額22,567,000円に対し27,974,050円(5,407千円増)

一方、パークゴルフ場については、予算額847,000円に対し760,060円(87千円減)となりました。

当パークゴルフ場(天都の杜)を含め市内三施設において使用できる共通回数券(1冊11枚綴り:2,500円)を発行するとともに、シーズン券(11,000円)の導入を行い、利用促進を図りました。なお、共通回数券の販売部数は56冊(616枚)で140,000円の収入。使用内訳については、天都の杜で487枚、のどろで84枚、スポトレで25枚、未使用が20枚。また、シーズン券については、13枚販売し143,000円の収入となりました。

更に網走市の事業「高齢者生活総合支援助成券」205枚(20,500円)、「ボランティア応援券」11枚(1,100円)の利用がありました。

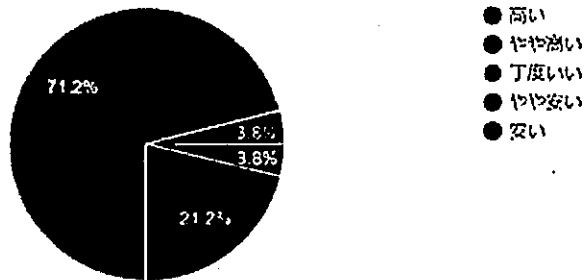
8. 令和4年度利用者満足度調査(指定管理者独自による)

・実施期間:令和5年1月20日~令和5年2月20日

・回答件数:52件

Q1 キャンプ場及びパークゴルフ場の価格設定について

52件の回答

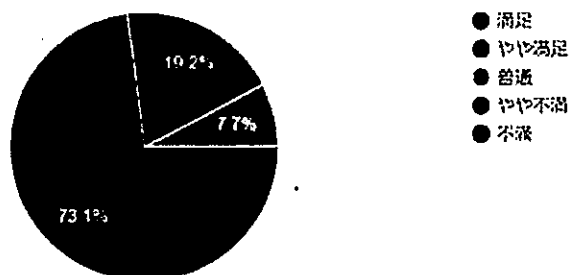


Q2 利用者のマナーについての意見や感想があれば教えてください。(記述)

・キャンプ場の値段は少し高いが、その分無料のキャンプ場と違い民度は高いと思います。

Q3 スタッフの対応・接客について

52件の回答

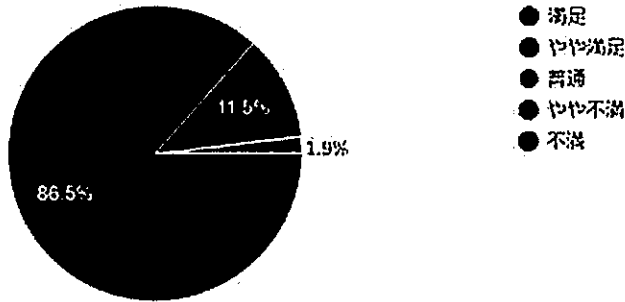


Q3-2 「スタッフの対応・接客」の意見や感想があれば教えてください。(記述)

・電話したらすぐ来てくれたのは嬉しかった。

Q4 施設の利用満足度を教えてください。

52件の回答



Q3-2 「スタッフの対応・接客」の意見や感想があれば教えてください。(記述)

・電話したらすぐ来てくれたのは嬉しかった。

Q4-2 「施設の利用満足度」の評価理由があれば教えてください。(記述)

- ・キャンプカーサイトの事ですが、キャンプカーやトレーラーを所有している人のみが入れるサイトに
はなりませんでしょうか?混む時期はなかなか予約が取れなくて残念な思いをしています。
- ・無料で遊べるのはすごくいい
- ・キャンプ場をもう少し長いシーズン使えるようにしてほしい
- ・無料で遊べるので助かってます
- ・無料で利用できるのがいい

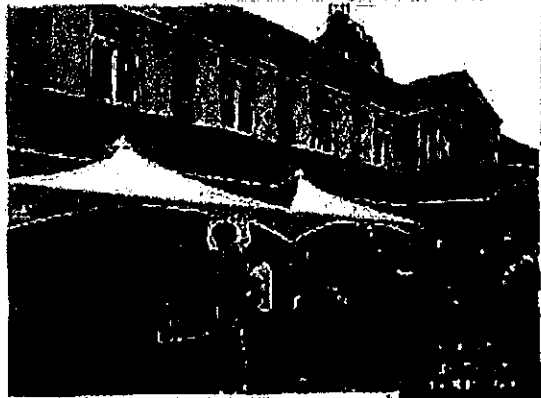
Q5 ころころひろばに置いて欲しい「おもちゃ」や「サービス」があれば教えてください。(記述)

- ・フラフープなど少し大きくなった子が使えるもの
- ・手前の飲食できるコーナーも靴を脱いで利用できるスペースだと良い
- ・そろそろボールプール復活してほしいです
- ・おもちゃではないのですが、荷物はできる限り減らしたいので IC カードが使用出来る自動販売機があると嬉しいです!

Q6 キャンプ場で取り扱って欲しい「商品」や「サービス」があれば教えてください。(記述)

- ・ロッジの駐車場へ車 2 台停まれるようにしてほしいです。
- ・アーリーチェックイン、レイトチェックアウト、電源サイトの日帰り利用、連泊割引
- ・使い捨てのレインコートがあれば便利かも
- ・10 月末までキャンプ場営業してほしい
- ・ソロキャン割

じゃらん9月号掲載



9/23⑨・24⑨
10:00-16:00

秋の味覚や旬産のグルメ

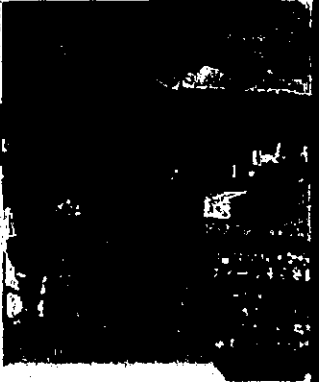
秋の味覚や旬産のグルメ

秋の味覚や旬産のグルメ

9/18⑨
10:00-16:00

てんどうと大瀬園新 2022

てんどうと大瀬園新 2022



9/18⑨
10:00-16:00

リニアステルな「あわび祭り」

第1回 福島町

FOOD STADIAM

FOOD STADIAM



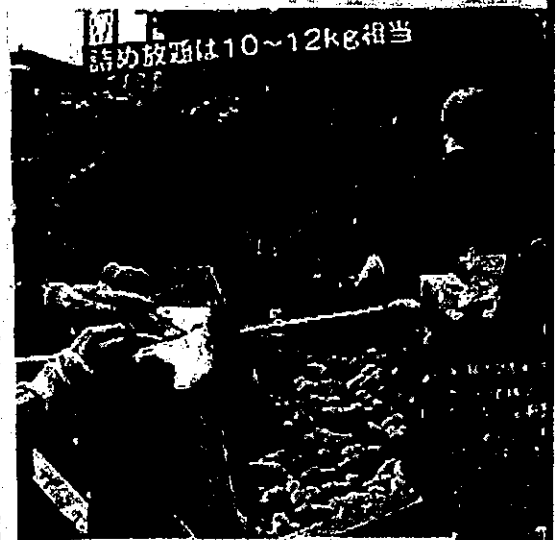
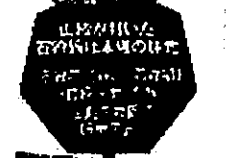
9/24⑨・25⑨
9:00-15:30(予定)

第57回石狩さけまつり

第57回石狩さけまつり

第57回石狩さけまつり

第57回石狩さけまつり

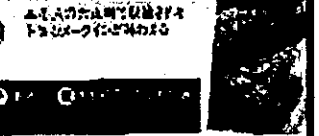


9/23⑨
9:00-14:00

第44回福广大正メークインまつり

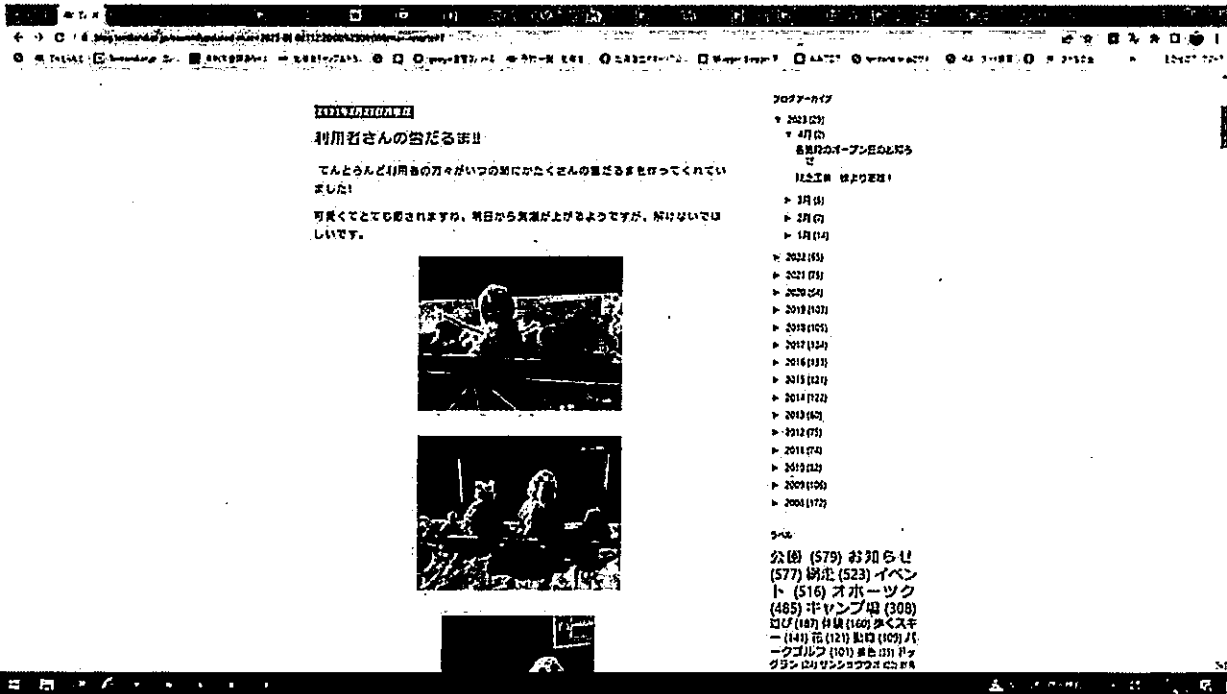
第44回福广大正メークインまつり

第44回福广大正メークインまつり



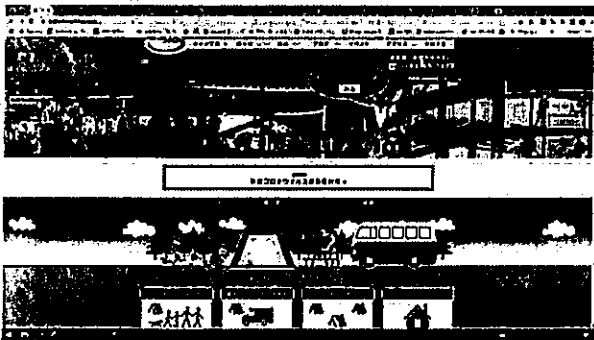
41

◎ブログ投稿内容の一部

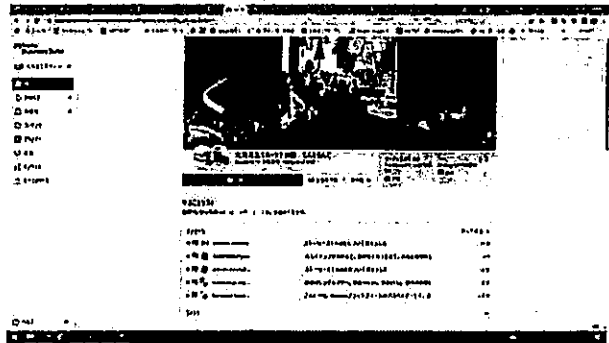


ICT の活用

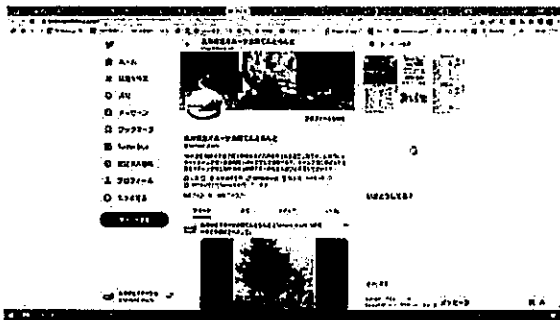
ホームページやフェイスブック、ツイッター、インスタグラムを活用し様々な情報発信を行いました。また、キャッシュレス決済の導入、フリーWi-Fi環境の整備に取り組みました。



公園ホームページ



フェイスブック



ツイッター

【指定管理業務外】自主企画事業報告書

指定管理業務外に関する報告書

I 各種イベント事業

1. 北海道立オホーツク公園自主企画事業

北海道立オホーツク公園の利用促進を図るため、オートキャンプ場等を活用して各種イベントを実施する計画でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くのイベント中止及び、施設の臨時休止に伴う事業の中止、変更をしました。

(1) 大規模イベント事業

テーマ 「てんとらんど大感謝祭2022」
開催日 令和4年9月18日(日)
参加者 1,097名

(2) 中規模イベント事業①

テーマ 「はじめてのキャンプ体験ツアー」
中止

(3) 中規模イベント事業②

テーマ 「てんとらんどオートキャンプ」
開催日 令和4年10月22日(土)～23日(日)
参加者 62名

(4) 小規模イベント事業

開催回数 4回 延べ参加者数 329名
内容 キャンプ場開設期間中の週末に宿泊者を対象とした各種事業を実施し利用促進を図った。

テーマ 「オープニングイベント」
開催日 令和4年4月29日(金・祝)
参加者 187名(63組)

テーマ 「レザークラフト体験」
開催日 令和4年7月16日(土)
参加者 4名

テーマ 「ジェルキャンドル教室」
開催日 令和4年8月6日(土)
参加者 4名

テーマ 「クロージングイベント」
開催日 令和4年10月9日(日)
参加者 134名(39組)

*以下中止とした事業

テーマ 「パリパリひとくちピザづくり」
開催日 令和4年8月13日(土)

(5)その他事業

開催回数 29回 延べ参加者数 7,808名
内容 地元団体及び地域住民等と連携・協力をしながら各種事業を実施し、公園の利用促進を図った。

テーマ 「清涼飲料水等の自動販売機設置」
開催日 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

テーマ 「シーニックの森 in てんとらんど」
開催日 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
※受付は通年。ただし植樹は6月、9月である。
参加者 0名

テーマ 「物品販売(売店設置)サービス」
開催日 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
※センターロッジ売店は、キャンプ場開設期間実施

テーマ 「センターハウス研修室の活用(有料)」
開催日 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
利用者 306名
テーマ 「陶芸教室開催事業」
開催日 令和4年4月8日(金)～令和5年3月31日(金)
利用者 1,265名

テーマ 「メープルウォーター等の無料配布」
開催日 令和4年4月29日(金・祝)～4月30日(土)
参加者 セルフサービスのため人数をカウントしてません。

テーマ 「空中テント宿泊体験」
開催日 令和4年4月29日(金・祝)～10月9日(日)
参加者 0名

テーマ 「ドッグラン施設の開設」
開催日 令和4年4月29日(金・祝)～令和4年10月31日(月)
参加者 1,116名(731匹)

テーマ 「子育て支援事業(ロッジでDayキャンプ)」
開催日 令和4年4月29日(金・祝)～令和4年10月10日(月・祝)
参加者 0名(0棟)

テーマ 「キャンプ場宅配サービス」
開催日 令和4年4月29日(金・祝)～令和4年10月10日(月・祝)

- テーマ 「レンタル事業」
 ①キャンプ用品レンタル事業
 開催日 令和4年4月29日(金・祝)～令和4年10月10日(月・祝)
 ②歩くスキー用具・ソリレンタル事業
 開催日 令和5年1月4日(水)～令和5年3月5日(日)
- テーマ 「期間限定!コネクトリップでいろいろ体験」
 開催日 令和4年4月29日(金・祝)～令和4年10月10日(月・祝)
 参加者 0名
- テーマ 「センターハウス内 小上がり休憩スペース設置(無料)」
 開催日 令和4年5月1日(日)～令和5年3月31日(金)
- テーマ 「自然観察会」
 ①てんとらんど山菜まつり
 開催日 令和4年5月15日(日)
 ②巣箱清掃&野鳥観察会
 開催日 令和4年10月15日(土)
 参加者 19名(①15名 ②4名)
- テーマ 「アスチルベ限定!宿根草に係る講習会」
 開催日 令和4年5月20日(金)
 参加者 16名
- テーマ 「元気なお花を育てよう!セミナー」
 開催日 令和4年5月21日(土)
 参加者 54名
- テーマ 「子供花植え教室」
 開催日 令和4年6月3日(金)
 参加者 29名
- テーマ 「ノルディックウォーキング教室」
 開催日 令和4年6月5日(日)～令和4年10月30日(日)計22回
 参加者 267名
- テーマ 「パークゴルフ大会」
 ①第22回天都の杜パークゴルフ大会
 開催日 令和4年6月26日(日)
 ②第13回天都の杜チャンピオンシップ
 開催日 令和4年10月30日(日)
 参加者 127名(①61名 ②66名)
- テーマ 「夏休み!流氷硝子館での物づくり体験」
 開催日 令和4年7月1日(金)～令和4年8月28日(日)
 参加者 0名

テーマ	「オホーツクみんたる市 in あばしり」
開催日	令和4年10月8日(土)~9日(日)
参加者	553名
テーマ	「O'K Long Raide(オホーツクロングライド)」
開催日	令和4年10月9日(日)
参加者	94名
テーマ	「キラ星フェスタ in てんとらんど」
開催日	令和4年11月20日(日)
参加者	カウンター故障のためカウントできませんでした。
テーマ	「歩くスキーコース開設」
開催日	令和5年1月4日(水)~令和5年3月5日(日)
参加者	1,378名
テーマ	「そりコース開設」
開催日	令和5年1月4日(水)~令和5年3月5日(日)
参加者	2,387名
テーマ	「歩くスキーサークル結成」
開催日	令和5年1月7日(土)~令和5年2月25日(土) 計6回
参加者	109名
テーマ	「初めての歩くスキーツアー」
開催日	令和5年1月14日(土)
参加者	20名
テーマ	北海道立オホーツク公園スキー講習会
開催日	令和5年1月21日(土)~令和5年1月22日(日)
参加者	16名
テーマ	「歩くスキーの集い」
開催日	令和5年2月19日(日)
参加者	52名

*以下中止とした事業

テーマ	「ネイバル北見との協働事業」
開催日	令和5年1月下旬及び2月上旬

自主企画事業実施目標数等

事業名	目標回数	実施回数	対比
大規模イベント	1	1	0
中規模イベント	2	1	-0
小規模イベント	5	4	-1
メープルウォーター等の無料配布	1	1	0
空中テント	1	1	0
自然観察会	*2	*2	0
健康ルディックウォーキング教室	*20	*22	2
歩くスキーコース開設	1	1	0
そりコース開設	1	1	0
青少年体験活動支援施設ネイバル北見との協働	1	0	-1
2023歩くスキーの集い	1	1	0
ドッグラン施設開設	1	1	0
宿根草を育てよう！セミナー	1	1	0
子ども花植え教室	1	1	0
省エネルギー・リサイクル・地球温暖化対策事業	1	1	0
子育て支援事業	1	1	0
パークゴルフ大会	*2	*2	0
歩くスキーサークル	*6	*5	-1
その他利用促進事業	9	14	5
北方民族博物館との協働事業	1	1	0
合計	33	35	2

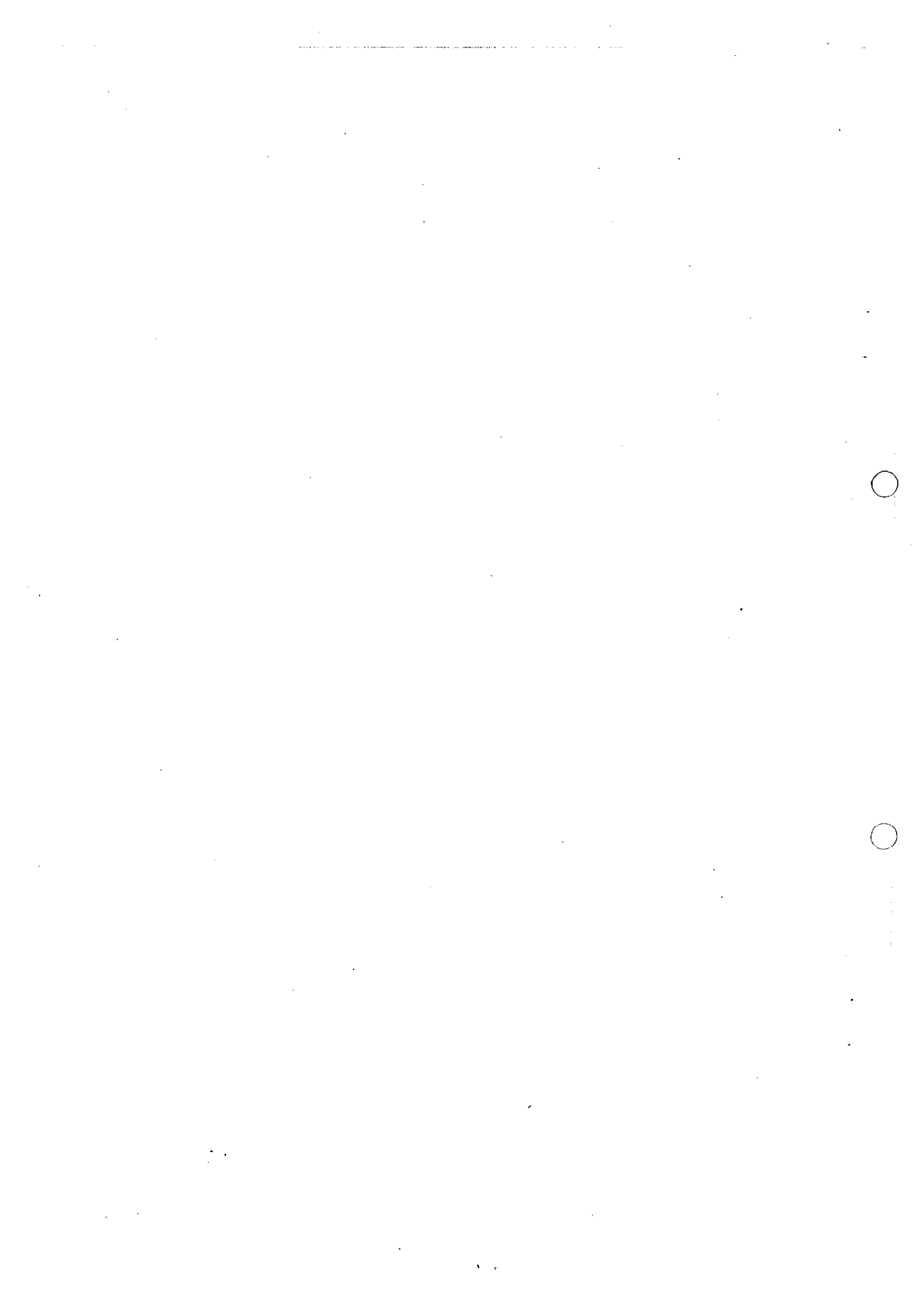
※一つの事業において毎回、同じ内容で実施するものは1回としてカウントしています。

◆参考実績指標

指定期間を通じて、指定管理者が自主的に実施する実績指標とし、目標達成度をはかるものではなく、管理の目標を保管するための参考です。

参考実績指標

公園の利用促進のための自主企画事業	目標	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計	対比
	33事業	29事業	5事業	1事業	0事業	35事業	2事業
	達成率	87.80%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	



令和5年4月26日

道立公園名	北海道立オホーツク公園
-------	-------------

指定管理業務外

令和4年度
北海道立オホーツク公園自主企画事業会計収支決算書

指定管理者	一般財団法人 北方文化振興協会
-------	-----------------



令和4年度 北海道立オホーツク公園自主企画事業会計収支決算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1 事業活動収入の部

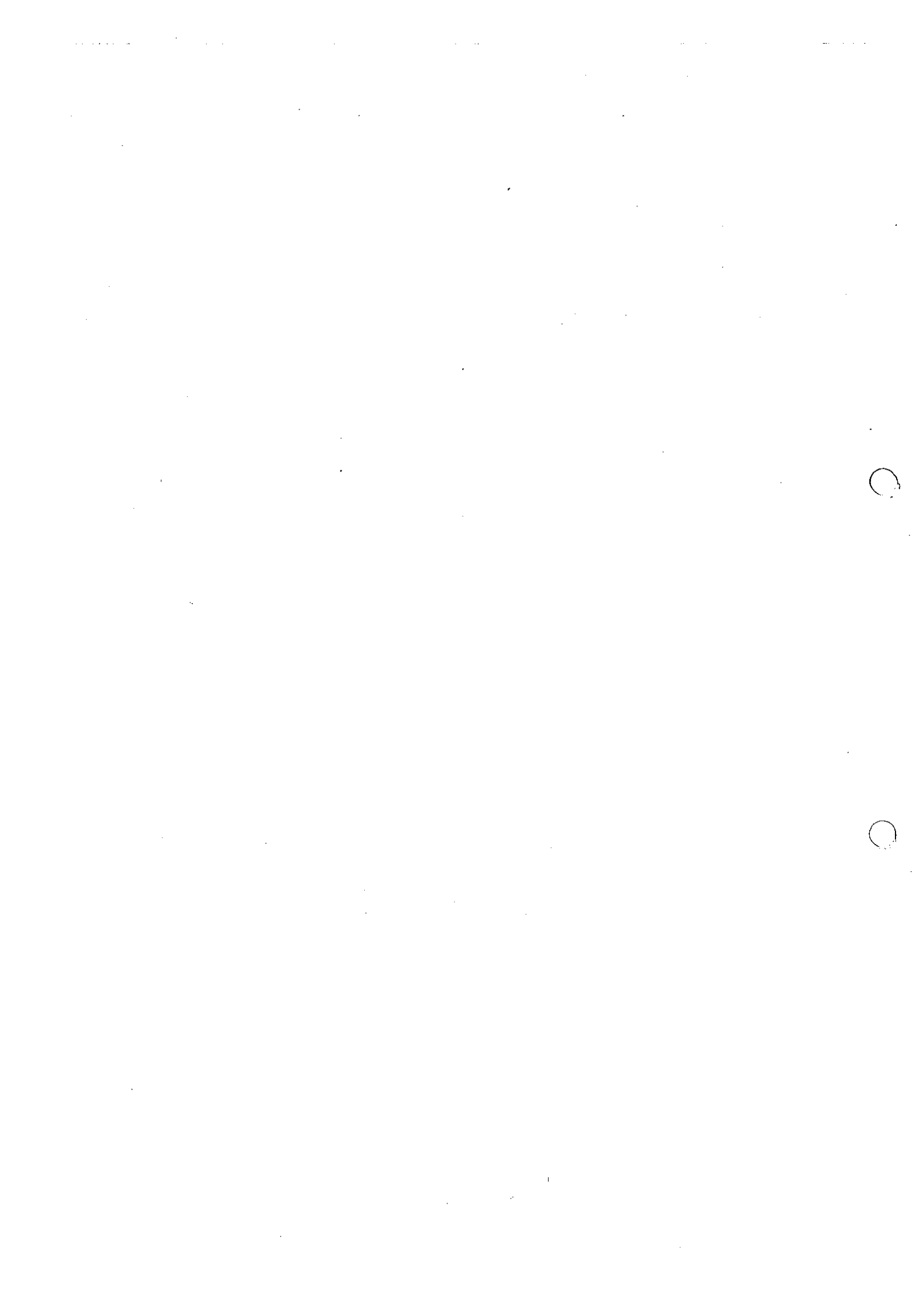
(単位:円)

勘定科目名		予算額 A	決算額 B	差異 A-B	備考
自主企画 事業収益	販売収益	2,095,000	2,585,440	△ 490,440	売店、飲料水販売手数料等
	レンタル料収益	320,000	262,300	57,700	キャンプ用品、歩くスキー用具
	イベント事業収益	550,000	281,050	268,950	各イベントに係る参加料等
	研修室備品貸出収益	8,000	7,300	700	テーブル・イス貸出
	てんと工房事業収益	800,000	840,000	△ 40,000	陶芸教室研修料
	受取民間助成金	0	130,000	△ 130,000	北海道土木協会(大感謝祭分)
	受取委託料	158,000	158,400	△ 400	網走市ヒの歩くスキーコース整備業務委託契約
	受取利息	0	19	△ 19	決算利息
	雑収益	0	3,550	△ 3,550	釣り銭過不足
事業活動収入計		3,931,000	4,268,059	△ 337,059	

2 事業活動支出の部

(単位:円)

勘定科目		予算額 A	決算額 B	差異 A-B	備考	
自主企画 事業支出	事業原価	期首棚卸高	40,000	61,722	△ 21,722	令和4年度期首棚卸高
		仕入高	1,218,000	1,071,287	146,713	物品仕入
		期末棚卸高	△ 40,000	△ 81,767	41,767	令和4年度期末棚卸高
		計	1,218,000	1,051,242	166,758	
	臨時職員	92,000	149,059	△ 57,059	イベントに係る警備員、歩くスキーコース整備作業員	
	消耗什器備品費	260,000	0	260,000	売店レジスター購入	
	消耗品費	557,000	281,200	275,800	各種イベント等に係る物品購入	
	通信運搬費	10,000	920	9,080	送料	
	修繕費	65,000	179,403	△ 114,403	スノーモービル等の修理	
	燃料費	51,000	46,953	4,047	スノーモービル燃料、陶芸教室暖房費	
	光熱水費	49,000	15,358	33,642	自販機、陶芸教室電気代	
	賃借料	96,000	43,828	52,172	自動販売機・売店事務等の設置・占用料	
	保険料	68,000	22,705	45,295	レクリエーション保険	
	諸謝金	616,000	549,626	66,374	てんと工房等の講師謝金	
	租税公課	210,000	283,453	△ 73,453	消費税、法人税、印紙代	
	負担金	203,000	186,932	16,068	パークゴルフ大会等	
	広告宣伝費	182,000	128,800	53,200	かわら版・雑誌への広告掲載料	
	手数料	67,000	28,680	38,320	振込手数料等	
	雑費	187,000	145,801	41,199	歩くスキー板メンテナンス代等	
	事業活動支出計		3,931,000	3,113,960	817,040	
事業活動収支差額		0	1,154,099	△ 1,154,099		
その他の事業活動支出計		0	1,022	△ 1,022	棚卸損失	
当期収支差額		0	1,153,077	△ 1,153,077		





(別記様式1)
利用料金の設定について

施設名	北海道立オホーツク公園
所管課名	建設部まちづくり局都市環境課
指定管理者名	(一財)北方文化振興協会

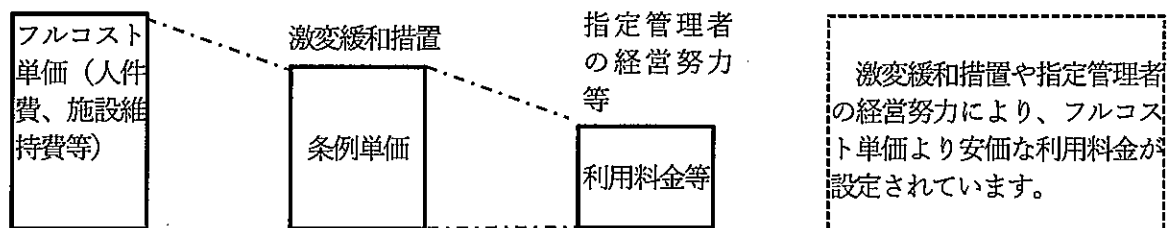
1 施設利用者に利用料金をご負担いただく考え方

道が設置する施設の利用料金等は、施設を利用する特定の者が利益を受けるという点に着目し、その施設の維持管理に必要な経費（人件費、施設維持費等）の全部又は一部を利用者にご負担いただいております。

2 利用料金等の算出方法

- (1) 施設の維持管理に必要な経費のうち、利用者にご負担いただく経費（フルコスト）を算出し、利用実績に基づき利用者1人当たりの単価（フルコスト単価）を算出します。
- (2) 上記フルコスト単価を算出した結果、利用者負担が急激に増加する場合には、激変緩和措置を講じています。
激変緩和措置により減額された単価が条例に規定された単価（条例単価）となります。
- (3) 指定管理者制度を導入している施設については、条例単価を上限額として指定管理者が知事の承認の下、利用者から徴収する利用料金（又は使用料）を設定しております。
多くの利用料金（又は使用料）は、指定管理者の経営努力等により条例単価より安価に設定されています。

【イメージ】



3 利用料金について

(1) キャンプ場

フルコスト		
人件費	14,963	千円
諸経費	25,878	千円
施設維持費	35,456	千円
減価償却費	4,756	千円
支払利息	4,638	千円
その他	0	千円
合計	85,691	千円

区分	フルコスト単価	条例単価	利用料金
デイキャンプ	870円	870円	500円
小学生	890円	890円	700円
一般	1,840円	1,840円	1,600円
1日	780円	780円	500円
一泊	4,000円	4,000円	3,800円
ロッジ	20,560円	20,560円	20,200円
洗濯機	520円	520円	300円
乾燥機	170円	170円	100円

※時期により料金設定が異なるため代表単価のみ記載する。

(2) パークゴルフ場

フルコスト		
人件費	14,963	千円
諸経費	25,878	千円
施設維持費	35,456	千円
減価償却費	471	千円
支払利息	4,638	千円
その他	0	千円
合計	81,406	千円

区分	フルコスト単価	条例単価	利用料金
一般	1,380円	740円	250円
用具貸出	560円	330円	100円

